興奮再現。

持ち運んで楽しむか



クリアでナチュラルな音質の実用最大出力4.2W(2.1W+2.1W、EIAJ/DC)のパワー。12cmウーハー(中低音域用)と3.5cmツイーター(高音域用)採用のスピーカー・システムが再現するリアルなパワーサウンド、心ゆくまでお楽しみください。

- FM/AM2バンドラジオつき
- (クロム/ノーマル)テープセレクター採用
- フルオートストップ
- 外部スピーカー端子つき(別売り APS-80)使用
- ラインイン、ラインアウト端子、マイク端子(R用、L用各1個)つき

ステレオ パディスコ8030 TRK-8030 ¥43,800

●電源DC:9V(単1×6) AC:100V 50/60Hz カーアダプター(別売りD-70) ●大きさ 幅41.2×高さ25.6×奥行12(cm) ●重さ 5.0kg(乾電池含む)

システム パディスコ

組んで楽しむか

パディスコ8030はシステムアップできるラジオカセット。専用外部スピーカー(APS-80)の接続により、迫力あるステレオ・サウンドがさらに倍増。また、プレヤー(HT-320)を接続すればレコード音楽も楽しめます。(MM形カートリッジイコライザー MCE-70が必要)



- 専用外部スピーカー、APS-80 別売り 2本セット¥11,800
- レコードプレヤーHT-320 別売り ¥25,800(レコードプレヤーを接続するにはMM形カートリッジイコライザー〈MCE-70〉別売り ¥4,500が必要です)

▲上の写真はステレオパディスコ8030をシステムアップしたものの一例です。

★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

★商品のお問合せ、クレジットのご相談、カタログのご請求は、お近くの日立の家電品取扱店へお気軽にどうぞ。

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI CASSETTE RECORDER

HITACHI

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)502-2111

日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)503-2111

★「日立カセットレコーダーの保証書」は必ずお受けとりください。お買い上げの際に、販売店名、ご購入年月日が記入されているかを、お確かめになり、大切に保存してください。

オリンピック予選は11月、台湾開催か

モスクワ・オリンピックのアジア予選は、男女とも、急転、11月台湾で行われる見通しとなった。

これは、IHF（国際ハンドボール連盟）のアジア地域統轄理事である渡辺和美氏が、近く、日本など、IHF加盟のアジア地域諸国へ連絡することになったもので昨秋、いちどは、韓国に決まったとも伝えられた予選開催地は、大きな〝変更〟を告げるわけである

韓国から台湾に変わったいきさつについては、明らかとなっていないが、本誌の取材では、韓国協会側に、引き受けの意思がほとんど無かったことが、最大理由とみられる。

このため、渡辺IHF理事は、ホンコン、台湾などを候補にあげて折しようしていた模様で、最近になり、台湾協会が受け入れをOKしたもの。

なお、日本協会・荒川清美理事長は、ヨーロッパ遠征を前に「IHF筋から、公式に日本での開催を打診されたことはなかった」といっている。

日本協会は、IHFからの公式連絡を待って態度を明きらかにするが、11月、中国で第2回アジア選手権（男子のみ）の開催が決まっているだけに、ナショナルチームの編成に、微妙な問題が生じることも予想される。

なお、スイスのIHF本部からは、3月19日付で、モスクワ・オリンピック予選へのエントリーを4月31日までに完了するよう公式文書が届いているが、開催地については触れていない。

また、近着のIHF広報10頁にも、開催期日、場所とも、すべてのエントリーが〆切られるまで決定されないと記されている。

モスクワ・オリンピックアジア地域予選に出場する資格をもつ国は次の14カ国で、日本協会強化委は日本のほか、韓国、クウェートサウジアラビア、インド、台湾らがエントリーするのではないかといっている。

女子はさらに少なく日、韓、台の3ケ国に留るか、インドが加わる程度だろう。

【IHFアジア地域加盟国】バーレーン、台湾、ホンコン、インドイラク、イラン、日本、韓国、クウェート、レバノン、カタール、サウジアラビア、シンガポール、アラブ首長国連邦。

全日本男子、西ドイツでの緒戦落とす

【ノインキルヘン（西ドイツ）にて全日本男子コーチ団発・速報】3月28日、成田を元気にとび立った全日本男子代表チームは、3月30日、西ドイツのブッパータルで、世界チャンピオン・西ドイツナショナルチームと遠征第1戦を行ない、17―27で敗れた。

西ドイツは、さすがに世界チャンピオン国らしい厚味のある布陣で日本を迎え撃った。

金メダルメンバーはバルッケ、メフレの2人だけだったが、優勝後、次々に加えられて来た若手の大型選手が、自信にあふれた攻守を示した。

しかし、日本も飛行機疲れはあったものの、津川、蒲生を中心に迫力のある攻撃で、いちぢは3点のリードを奪い、会場を埋めた二千近いファンの歓声をあびた。

後半になると、力で押してくる西ドイツに、しだいにディフェンスラインが下りはじめ、10分20―12とされたあと、じりじり点差を開かれ、勝利から遠のいた。

今回の遠征は、秋に予定されるオリンピック予選、さらに、来年のモスクワへつなげるための強化いわば武者修業である。

日本協会が、このようなタイトルのかからぬヨーロッパ遠征を行うのは、一九七〇年の東欧転戦以来のことで、成果が期待される。

メンバーは、既報のとおり、関山本ら全日本初参加の新進を加えており、竹野監督は「勝率よりも〝内容〟を重視した遠征にしたい」と語っている。

このあと、西ドイツで7試合、オーストリアで4試合を行ない、4月20日夜、帰国の予定。

▽第1戦

西ドイツ 27（16―7, 11―10）17 日本

得	【日本】		【西ドイツ】	得
0	福井（湧永薬品）	GK	ボーラー	0
0	井藤（日体大）	GK	ベルツェル	0
6	蒲生（大同特殊鋼）	FP	メフレ	0
4	津川（湧永薬品）	FP	スツール	2
2	穂積（湧永薬品）	FP	オーリー	6
1	柳川（大同特殊鋼）	FP	モルター	2
0	関（三陽商会）	FP	ケラー	7
1	山本（湧永薬品）	FP	バルッケ	6
2	斉藤幸（大崎電気）	FP	プライス	1
1	斉藤将（湯沢ク）	FP	シュルソン	1
0	生駒（湧永薬品）	FP	ベイス	1
0	中本（大同特殊鋼）	FP	ミガス	1
17	（1）	PT	（2）	27

『ハンドボール』

54年4月号（第173号）目次

【表紙写真】第2回全国高校選抜大会男子決勝・中大付属(攻)×久留米工大付属戦から。
【スポーツ・イベント社提供】

小松市女、春のタイトルも握る

〜第2回全国高校選抜大会〜

男子は中大附属が初の栄冠

春の高校王者は、男子が中大付属(東京)、女子が小松市女(石川)に決まった――第2回全国高校選抜大会は、3月25日から27日まで名古屋の愛知県体育館に、全国各ブロックから推せんされた男女各10校が集まり、トーナメント法式で争われた。

昨春の第1回大会で、この春のビッグベントは、高校界にすっかり定着。昨秋以降、新チームを編成してこの大会を目指したチームは、夏のインター・ハイに劣らぬ数となり、それだけに〝本大会〟の熱戦は、スタンドを沸かしつづけるものであった。

男子は、有力の呼び声が高かった中大付属と久留米工大付属(福岡)が、それぞれ準決勝で、地元・東海勢を制し決勝へ進出、対決したが、総合力で僅かに優る中大付属が快勝、初優勝を飾った。

女子は、〝夏の名門校〟がひしめき、接戦を演じたが、結局、決勝は小松市女×徳山(山口)の顔合せとなり、小松市女が完勝、初の栄冠を飾った。同校は、昨夏のインターハイ、長野国体でも優勝しており〈全国大会3連勝〉となった。

来年の第3回大会は、3月26日から3日間、山口県徳山市で開かれる予定。

男子

◇1回戦(2試合)

中京(愛知) 13(7−5、6−6)11 氷見(北信越・富山)

得	【中京(身長)】		【氷見(身長)】	得
0	伊藤(171)	GK	水谷(177)	0
0	深谷(184)	GK		
1	三輪(174)	FP	高西(178)	1
3	道山(180)	FP	山崎(175)	3
0	大川(178)	FP	光安(170)	2
2	河原(177)	FP	浦(174)	0
0	妹尾(170)	FP	松田(174)	2
4	宮下(185)	FP	沢武(168)	0
0	山田(179)	FP	前(169)	2
0	平山(174)	FP	瀬戸(169)	0
3	倉見(163)	FP	中原(166)	1
0	尾崎(170)	FP	矢田(178)	0
13	(0)	PT	(0)	11

(審・小松、安芸)

○…氷見は、得意のパスワークで固さのみえる中京ディフェンスを崩し、16分5−2とリードを奪い、ペースを握ったかにみえた。

しかし、中京は、17分巨砲・宮下がロングを決めてから、がぜん攻守にまとまりがみられ、河原の速攻などあって、19分5−5、さらに宮下、道山で、あっという間に逆転してしまった。

このパワーには、氷見も驚いたようで、後半8分5−9と開かれるまで得点が止まり、結果的にはここでの〝乱れ〟が敗因となった。

氷見は15分7−10から、中原、前で9−10までせまり、21分10−11と粘ったのだが、余裕をもつ中京は、GK伊藤の好守と倉見の連続得点で、主導権をはなさず、地元の声援に応えた。

県岐阜商(東海・岐阜) 22(13−7、9−7)14 御坊商工(近畿・和歌山)

得	【岐商(身長)】		【御坊(身長)】	得
0	武井(180)	GK	栗原(174)	0
0	広瀬雅(173)	GK	前(170)	0
2	端田(163)	FP	中田(174)	3
1	広瀬友(174)	FP	左成(173)	1
0	亀山(170)	FP	中井(171)	3
3	小木曽(170)	FP	出口(165)	1
0	伊藤(173)	FP	山田(186)	0
4	足立(176)	FP	浜田(171)	0
0	牧田(172)	FP	山本(176)	5
0	清水(168)	FP	大橋(162)	1
0	山田(163)	FP	松村(180)	0
12	田口(182)	FP	平田(174)	0
22	(4)	PT	(2)	14

(審・荒川、竹内)

○…13分5−5と互角の立ちあがりから県岐阜商はエース田口の巧技と端田、小木曽で連続3ゴール、先行した。

御坊は、この点差を早く詰めようと、果かんな攻めを見せたのだが、詰めを欠いて、思うようにゴールを割れず、20分7−10と苦しい展開をつづけた。

県岐阜商は、残り5分から、再び猛攻をみせPT1を含む連続得点で13−7と、予想外の大差をつけた。

後半も、勢いにのる県岐阜商の攻撃は、田口の多彩なプレーを軸に、着々と追加点をあげ、7分17−8、大勢が決まった。

御坊も、山本、中井らで最後まで、懸命に食い下ったが、19分14−20で力つきた。

中京、修道に逆転勝ち

◇準々決勝

中大付属(関東・東京) 20(12−6、8−9)15 聖光学院(東北・福島)

得	【中大(身長)】		【聖光(身長)】	得
0	山口(178)	GK	佐藤信(178)	0
		GK	手塚(174)	0
4	長坂(188)	FP	阿部(170)	1
10	実方(181)	FP	遠藤(174)	0
0	尾島(180)	FP	桃井(169)	2
0	小山(176)	FP	小林(170)	1
4	安藤(172)	FP	大谷(173)	5
0	中島(171)	FP	宮下(179)	2
2	田中(171)	FP	鈴木(177)	4
0	坂井(170)	FP	幕田(177)	0
0	佐藤(165)	FP	佐藤孝(173)	0
0	西川(163)	FP	丸山(170)	0
20	(6)	PT	(2)	15

(審・藤原、細井)

○…聖光は2分宮下のゴールで元気よく飛び出し、7分まで先手をとっていた。しかし、中大付は8分安藤で3−3に追いつくと、すっかり落ちついて、聖光を押しまくり、前半ダブルスコアという思ってもみない経過になった。

中大附の攻めはバラエティに富み、安藤、田中のポストプレーで相手ディフェンスラインを下げると、上から長坂、実方の長身コンビがロングを飛ばし、新人チームとは思えぬたくましさを示した。

後半、気をとりなおした聖光は大谷、鈴木などの攻撃が冴え、互角以上にわたりあった。

このテンポが、もし前半に出ていればと惜しまれたが、中大付側からすれば前半のデキに比べて、課題の多い後半といえた。

久留米工大付(九州・福岡) 16(8−7、8−8)15 新居浜工(四国・愛媛)

得	【久付(身長)】		【新工(身長)】	得
0	小野(183)	GK	高田(172)	0
0	北川(180)	GK	星加(175)	0
2	小川(178)	FP	脇(169)	0
1	古賀(176)	FP	曽我部(181)	2
6	長野(173)	FP	渡部(170)	8
5	若杉(180)	FP	岡部(180)	1
0	中川(165)	FP	佐々木(172)	2
2	花田(178)	FP	今井(165)	2
0	古園井(172)	FP	田窪(170)	0
0	永延(177)	FP	重富(172)	0
0	角(176)	FP	三並(172)	0
0	坂本(172)	FP	浅野(176)	0
16	(2)	PT	(2)	15

(審・川島、大竹)

○…前半15分すぎから急に両チームとも、リズムに乗る好試合となった。

先手をとっていたのは新居浜で得点源・曽我部がマークされながらも、渡部のPTなどで23分7－6とリードした。

しかし、久工大付は、ハーフタイム1分前、僅かな相手の乱れをついて2ゴール、逆転に成功、さらに後半1分長野の加点で9－7と初めて先行。この優位は、久工大付に余裕を生じさせ、6分10－9のあと若杉、長野の連続ゴールを生んだ。

新居浜は劣勢に立たされながら13分から佐々木と渡部の連続ポイントで14－15と追いあげたのだが久工大付の踏んばりにあってタイにはできず、逆に23分ダメ押し点を印され、惜しい星を落した。

中京 16（8－8、8－7）15 修道（中国・広島）

【修道(身長)】		得
GK 鈴木	(175)	0
FP 大森	(170)	1
金森	(172)	2
藤永	(177)	1
児玉	(185)	5
大和面	(173)	0
広川	(180)	5
成瀬	(170)	1
小西	(173)	0
三反田	(173)	0
計	PT (0)	15

【中京】	得
GK 伊藤	0
GK 深谷	0
FP 宮下	4
妹尾	2
河原	3
大川	0
道山	3
三輪	2
山田	0
平山	0
倉見	2
尾崎	0
計 PT (0)	16

（審・安芸、小松）

○…中京がすばらしい粘りで、前評判の高かった修道を破った。

後半15分12－14とリードされた中京は16分倉見、16分20秒妹尾で同点、18分宮下で逆転した。

修道は、20分広川で15－15と追いついたが、すでに試合の流れは中京のもの。22分河原が勝ちこし点をあげ、土たん場で与えたPTも、当りに当るGK伊藤が、みごとにストップ、勝利をものにした。

試合は立ちあがりから好テンポ修道がわずかに押し気味だったが中京は再三にわたるGK伊藤の美技でピンチを逃れた。

後半に入ってすぐ、修道は児玉金森で10－8、ペースを握るきっかけをつかむかにみえたが、中京に粘られ6分10－10、このあと、もういちど修道は2点差をつけるのだが、相手の反撃をすぐ受けてしまった。PTを5本失敗したのも結果的には大きく響いた。

県岐阜商 23（14－6、9－5）11 函館有斗（北海道）

○…15分6－1と大差がつくほど、両チームに力の差があるとは思えなかったが、有斗は、パス攻撃のフィニッシュにもう一つ決め手がなく、ロング攻法を持つ相手に、ねじ伏せられるかっこうになってしまった。

【有斗(身長)】		得
GK 上田	(182)	0
GK 石井	(182)	0
FP 吉伏脇	(172)	5
船岡	(175)	1
阪井	(169)	0
熊谷	(173)	0
阿部	(172)	1
松井	(170)	2
新井田	(167)	0
川原	(178)	0
小笠原	(170)	0
荒木	(163)	2
計	PT (5)	11

【岐商】	得
GK 武井	0
GK 広瀬雅	0
FP 端田	3
広瀬友	3
亀山	0
足立	6
田口	7
小木曽	3
伊藤	0
牧田	0
清水	1
山田	0
計 PT (2)	23

（審・竹内、荒川）

県岐阜商は、全員に走力があり得点源の田口がマークされても次の手を備えていた。

後半も同じような展開で、有斗は、10分までPT2本を含む3点だけ、19－9と点差があいて、勝負が決まった。

県岐阜商のパワーと技は、絶好調のようで、コートサイドの評判が、この日の2試合で、がぜん高くなった。

中大付、善戦の県岐商かわす

◇準決勝

中大付属 21（10－6、11－7）13 中京

【中京】	得
GK 伊藤	0
GK 深谷	0
FP 三輪	3
道山	2
大川	0
河原	2
妹尾	3
宮下	2
山田	0
平山	0
倉見	1
長崎	0
計 PT (0)	13

【中付】	得
GK 山口	0
FP 実方	5
中鳥	1
尾島	2
長坂	3
小山	1
安藤	6
田中	3
西川	0
坂井	0
佐藤	0
計 PT (2)	21

（審・吉田、大橋）

○…中京はいきなりサイド攻撃二本を成功させる好スタートだっ

西ドイツ（世界男子チャンピオン）今夏7月来日か

【速報】日本協会・荒川清美理事長は、西ドイツ協会から、今夏7月3日から5日間ほど、男子ナショナルチームを日本へ派遣してもよいという申し入れのあったことを明きらかにした。

これは、西ドイツチームが「6月下旬、中国へ初遠征その帰途に立ち寄る」というもので、日本ではナショナルチームと2試合を希望している。

日本協会は、昨年、西ドイツが世界選手権を獲得して以来、その来日を交渉していたが、西ドイツ側との日程調整がつかず、早くても昭和55年といわれていた。

それだけに、今回の報せは、日本協会筋を喜ばせているが、期間や試合数など、日本側の希望もあり、ヨーロッパ遠征の全日本男子団長として訪独する荒川理事長が最終的に話し合い、条件がととのえば、招待することとなった。

実現すれば2月の世界女子チャンピオン・東ドイツについてのビッグシリーズとなる。

たが、中大付属は、4分早くも切り札・実方が十八番のロングシュートを決め、さらにPTであっさり同点、さらに、ポストプレイヤー・安藤がすばらしい動きから3点連取で13分5－2とした。

中京もひるまず13分スカイプレー(道山)、14分妹尾で一点差、この均衡は20分すぎまでつづいたが中大付属は、再び実方のシュート力を活かして23分8－5と突きはなし、残り1分、相手のミスなどに乗じ2点を加えるソツのなさで10－6と優位に立った。

最後のこの2点は、中京の僅かな失敗をついてのもので、このあたりの容しゃのない攻めは、いかにも都会チームらしい巧さを感じさせた。

○…後半3分、中京は三輪で7－10と反撃に期待をもたせたのだが、中大付属は追いこまれるとみると、すぐに集中攻撃を仕掛け、5分13－7。

中京は、中大付属の攻撃源・実方に密着マークをつけるなど、なんとか粘ろうとするが、中大付属は、尾島、安藤がよく走って、相手の策をくだき、15分17－8と開いて、力の差をみせっけた。

久工大付、残り3分で決勝

久留米工大付属　14（8－7、6－6）13　県岐阜商

【岐商】	得		【久付】	得
武井 (GK)	0		小野 (GK)	0
広瀬雅 (GK)	0		北川 (GK)	0
広瀬友	0		小川	1
亀山	0		古賀	1
小木曽	1		花田	1
伊藤	0		若杉	6
足立	3		山川	0
端田	2		長野	5
牧田	0		古井	0
清水	1		永延	0
山田	0		坂本	0
田口	6		園角	0
計	13 (0)	PT	計	14 (1)

（審・荒川、川島）



【写真】男子準決勝・県岐阜商(白)×久工大付属戦。シュートを狙う県岐商のエース田口　（スポーツイベント提供）

○…残り3分、足立の鋭い切りこみで13－12とした県岐阜商は、一気上り調子の勢いを活かして、勝利をつかむかにみえたが、昨夏のインター・ハイチャンピオン久工大付属は、さすがに地力がある。

すぐにサイドから花田が持ちこんで13－13、互角に持ちなおしたあと、24分、エース若杉が豪快なシュートを決めて再逆転、県岐阜商の望みをたち切った。

○…力のこもった一戦。県岐阜商が田口の活躍でポイントすれば、久工大付属は長野の巧技で広しゅう、前半15分5－5。そのあと、久工大付属が若杉で21分8－5としたが、県岐阜商も、前半終了間ぎわ田口のロング、端田のポストで食いついた。

○…後半15秒、県岐阜商は田口で振り出しに戻し、10分11－11、15分12－12ともつれにもつれたが県岐阜商は残り3分、待望の先行点を得ることにつなげたのである。

こうなると、追いこんできた県岐阜商のもの、と誰の目にも写ったのだが、久工大付の〝自信〟はそれを上廻る力を備えていたといってよい。

田口×若杉という高校生ばなれした攻撃者の射ち合いを軸に、見応えのある一戦だったが、この試合も、PTの失敗が目立ち、両校とも、自から苦しい展開にしていたのは、今後の課題といえよう。

中大付属、鮮やかな集中攻撃

◇決勝

中大付属　18（10－6、8－6）12　久留米工大付属

【久付】	得		【中付】	得
小野 (GK)	0		山口 (GK)	0
北川 (GK)	0			
古賀	1		実方	10
花田	0		長坂	2
長野	6		小山	0
若杉	4		尾島	2
中川	0		中島	0
小川	1		安藤	1
永延	0		坂井	0
坂本	0		田中	3
古井	0		西川	0
園角	0		佐藤	0
計	12 (3)	PT	計	18 (6)

（審・小松、安芸）

○…マークを振り切って中大付属のエース・実方が4、5分連取、久工大付属も6分長野で追いかけたが、中大付属は、間(ま)をおかず6分安藤、7、8分田中とたたみかけ5－1とリードだ。

久工大付属も粘る。若杉マークの間げきをぬって小川、長野らが攻めてみ、PTも織りこんで18分6－7、決勝らしい点のとりあいになった。

ここで中大付属は、守りが固まる。久工大付属は、後半4分まで後12分間ノーゴール。

中大付属は23分尾島で8－6。

○…後半2分中大付属は実方が再び先陣、9－6。ここでの3点差は、千鈞の重みがある。

久工大付属は4、7分1点を返し8－10と僅かに差を詰めたが、中大付属は、ここでお家芸の集中攻撃、2本のPTを活かして3点連取、13－8。

さらに守りを固めて、スカイプレーに活路を求める久工大付属の攻撃をまたもや10分間ほど封じこみ、17分ついに15－8、優勝のメドをつけた。

中大付属・川上整司監督の話

春さきの試合は不安が多い。後半すぐに9－6とした時も、夏なら、これでなんとかと思えるだろうが、この大会では、そうはいかない。

選手には、練習どおりにすれば――といっておいたが、長坂のロングが一つのカギと思っていた。

彼が、後半、2点を入れてくれた(うちPT1)のが大きい。

出るからには、勝ちたかったが目標は夏。これで、追われる立場にもなったわけだが、攻撃では一線厚味を増すことと、守備では防禦にみがきをかけることで、チームを仕上げていきたい。

昭和学院、準決勝で退く

女子

◇1回戦（2試合）

涌谷（東北・宮城）13（4－6、9－1）7 熊本市立（九州・熊本）

得	【涌谷（身長）】		【熊本（身長）】	得
0	佐藤星（166）	GK	西村（167）	0
0	武田（168）	GK	宮崎（157）	0
8	末永（160）	FP	山本（160）	3
3	及川（157）	FP	水田（162）	0
1	佐藤純（158）	FP	永広（158）	0
0	田生幸（156）	FP	上村（157）	0
0	宮内（161）	FP	寺田（156）	0
0	牛渡（156）	FP	杉本（156）	1
0	新屋（164）	FP	鍬崎（154）	1
0	門脇（163）	FP	藤本（152）	2
1	田生喜（158）	FP	高野（151）	0
0	佐々木（156）	FP		
13	（4）	PT	（0）	7

（審・浅田、森）

○…前半10分3－1と滑り出した涌谷だったが、熊本は11、12分山本でタイとしたあと、15分鍬崎で勝ちこし、いったん同点とされたものの、前半終了間ぎわ、山本藤本で2点の先行、GK西村の好守もあって、有利な戦況とみえた。

しかし、涌谷は、後半になると守りに落ちつきを取り戻し、熊本の追加点を阻む一方、末永の大活躍で一気に挽回、10分7－7から末永（PT）及川、田生（喜）、佐藤と矢次早やのゴールで11－7、さらに15分すぎ、末永が2点を決めて、熊本を押し切ってしまった。

熊本は、山本を軸としたオフェンスが、涌谷の出足のよい守りにあって、後半はわずか1ゴール、前半の善戦を活かせなかったのは悔やまれよう。

暁（東海・三重）7（4－2、3－4）6 新居浜市商（四国・愛媛）

得	【暁（身長）】		【新商（身長）】	得
0	正代（158）	GK	今村（161）	0
		GK	永易（158）	0
1	稲垣純（161）	FP	飯尾（153）	0
5	池内（153）	FP	石村（158）	0
0	仲（157）	FP	藤原（148）	0
0	高橋（163）	FP	大西（156）	2
1	稲垣充（163）	FP	高橋（169）	3
0	平田（155）	FP	岡本（163）	1
0	村上（154）	FP	神山（159）	0
0	坂森（168）	FP	白石（153）	0
0	福島（167）	FP		
0	小林（155）	FP		
7	（0）	PT	（1）	6

（審・杉本、吉田）

○…最後まで重苦しいムードの試合だった。

有利に進めていたのは暁で、後半5分には6－3とリードしたのだが、そのあと得点が止まったばかりに、新居浜の大反撃を受け、13分6－6に追いつかれてしまった。

こうなると、予断はまったく許されなくなったのだが、暁は17分ゴール前フリースローから、小柄ながら切れ味のいいプレーをみせる池内が、鮮やかにとびこんで7－6、これが決勝点となった。

新居浜は、大柄なプレイヤーがいず、そのかわり、全員が速さを身上にしていたが、シーズンが浅いこともあって肝心の決め手にはやはり欠ける。それが前半2点だけという貧攻に終わり、試合の明暗までも分けてしまった。

徳山、涌谷の夢つぶす

◇準々決勝

名短大付（愛知）11（6－3、5－6）9 夙川学院（近畿・兵庫）

得	【名付（身長）】		【夙川（身長）】	得
0	三宅（163）	GK	加藤（163）	0
		GK	藤本（163）	0
1	松下（165）	FP	小出る（157）	3
4	大久保（163）	FP	秋成（167）	2
1	田中（162）	FP	神山（163）	0
2	今井（153）	FP	小出く（157）	2
0	杉野（157）	FP	足立（159）	0
0	北野（160）	FP	松田（156）	2
3	二村（164）	FP	大森（156）	0
0	木村（154）	FP	牧野（168）	0
0	内田（161）	FP	李（159）	0
		FP	北山（157）	0
11	（0）	PT	（0）	9

（審・吉田、大橋）

○…夙川の反撃急で面白い試合になった。3点差をつけられていた夙川は、終半2分小出（く）、8分秋成で5－6、ディフェンスも名短大付の攻撃を、前半15分すぎから15分以上無得点におさえる健闘で、好ムードだった。

しかし、名短大付は、10分すぎようやくリズムを取り戻し、今井大久保で8－5、どうにか態勢を立て直せた。

前半は、名短大付の一方的ともいえるペースで、15分あっさり6－1と開く展開だった。

このあたり、夙川は、調子の出ぬまま、試合に入ってしまった感じで、後半、追いこんだだけに、惜しまれよう。

一方、名短大付も、後半はじめの拙攻がなければ、もっと楽だったハズ。

昭和学院（関東・千葉）18（9－4、9－3）7 釧路湖陵（北海道）

得	【釧路（身長）】		【昭和（身長）】	得
0	田中（162）	GK	池田（158）	0
0	保田（162）	FP	高野（164）	5
0	鈴木（163）	FP	堀川（160）	4
0	笠原（152）	FP	荻原（153）	0
7	早坂（162）	FP	太田（168）	6
0	粟野（156）	FP	宮下（160）	2
0	左藤（163）	FP	星野（158）	0
0	伊藤（156）	FP	藁谷（155）	1
0	阿部（163）	FP		
0	熊谷（152）	FP		
7	（1）	PT	（2）	18

（審・森、浅田）

○…昭和が、戦前の評判どおりスケールの大きい攻守で、釧路を寄せつけなかった。

釧路は4分早坂で1－1、そのあとも早坂のシュート力で12分4－6と粘りついていたのだが、昭和は、じわじわと点差を拡げ、特に後半は、太田の豪快なシュートを中心に16分までに連続7点をも

ぎとり、勝負を決めた。
　釧路も、早坂がフリースローから、ジャンプ力を活かして、なんとか得点をと狙うのだが、これ一本やりでは、関東でもまれている昭和のディフェンスは、突き破れない。
　この大会は、男女ともエースアタッカーの活躍が際立つが、勝ち進んでいくチームは、やはり、バイプレイヤー、アシストプレイヤーの存在が大きくモノをいっているのだ。

徳山（中国山口） 16（9―2、7―2）4 涌谷

【涌谷】	得	
佐藤昼	0	GK
武田	0	GK
末永	0	FP
及川	1	FP
佐藤純	0	FP
田生幸	1	FP
宮内	0	FP
牛渡	1	FP
新屋	0	FP
門脇	0	FP
田生喜	1	FP
佐々木	○	FP
PT	(0)	4

【徳山（身長）】		得
小山 (166)	GK	0
大石 (165)	GK	0
岡村 (157)	FP	3
田中 (163)	FP	1
原 (159)	FP	3
松田 (166)	FP	4
山口 (160)	FP	5
徳原 (160)	FP	0
栗田 (159)	FP	0
寺西 (164)	FP	0
久保 (162)	FP	0
五嶋 (150)	FP	0
PT	(0)	16

（審・大橋　吉田）

○…前年の覇者が姿を消した。1―1から徳山は原の巧技で先行し、10分3―2のあとは、松田のロング、山口のステップシュートで試合を有利に導いた。
　涌谷は、速攻になかなか持ちこめず、8分田生(喜)がゴールを決めた（2点目）あとのスコアは、なんと、後半12分というのだから勝利は望めなかった。
　このあたりがシーズン初めの試合で、一つの芽をつぶされると、次の展開が、まだまだ成熟していない。
　後半13分15―3と開かれてしまっては、さしもの涌谷も、どうすることもできず、昨年、準決勝で敗れた徳山は、鮮やかに雪じょくを遂げるところとなった。

小松市女（北信越石川） 16（9―4、7―0）4 暁

【暁】	得	
正付	0	GK
稲垣純	0	FP
池内	2	FP
仲	0	FP
高橋	0	FP
稲垣充	1	FP
平田	1	FP
小林	0	FP
村上	0	FP
坂森	0	FP
福島	0	FP
PT	(0)	4

【小松（身長）】		得
本 (160)	GK	0
辻 (164)	GK	0
中田 (156)	FP	0
沢田 (161)	FP	0
太田 (159)	FP	1
手打 (160)	FP	4
河原 (159)	FP	4
金山 (168)	FP	2
大西 (163)	FP	1
東 (164)	FP	1
前 (154)	FP	3
竹 (167)	FP	0
PT	(4)	16

（審・吉田　杉本）

○…小松の強さが印象に残った。特に前半は、暁は、まったくつけいるスキがなく、あっという間に9―0、さらに後半4分にも1点を加えられ10―0。一矢を報いたのは8分池内で、このあとどうにか3点を加えたものの、試合の体裁をととのえたにすぎなかった。
　暁の攻撃は、好テンポで初りこんでもフォローがないため、小松をゆさぶり切れず、ただ、横にボールを移動させているだけ。この欠点を夏までになおしたいところだ。

名短大付くやしい逆転負け

◇準決勝

徳山 10（6―3、4―6）9 名短大付属

【名短】	得	
三宅	0	GK
松下	1	FP
大久保	6	FP
田中	1	FP
金井	0	FP
杉野	0	FP
二村	1	FP
大村	0	FP
内田	0	FP
PT	(1)	9

【徳山】		得
小山	GK	0
大石	GK	0
岡村	FP	2
田中	FP	0
原	FP	1
松田	FP	2
山口	FP	5
徳原	FP	0
栗田	FP	0
寺西	FP	0
久保	FP	0
五嶋	FP	0
PT	(3)	10

（審・吉田　杉本）

○…終始、緊張のつづく好試合だった。立ちあがりのテンポは、女子にはめずらしく、激しい点の取りあいとなり、6分3―3。
　徳山が11分PTで4―3とすれば、名短大付も13分PTでタイ、もつれた。
　このあと、名短大付が大久保、田中で6―4、まず主導権を握った。
　この好調は後半にも持ちこまれ5分8―6から7分二村で9―6とした時は、名短大付が最後までペースをつかみ切るかと思えた。
　ところが、ここで得点がパタリと止まる。
　そればかりか8分、わずかなスキからインターセプトで徳山に攻めこまれ、山口の俊敏なプレーに得点されて、流れまで変えられてしまった。10分PTで8―9、13分徳山の速攻は岡村のゴールを生んで、ついに同点となった。
○…名短大付の攻撃は、明きらかに浮足立ち、なんとかリード点をと思って強引すぎる。
　同点から1分後、徳山は、岡村が鮮やかなカットインで10―9と大逆転。名短大付の必死の反撃を守り切って、勝ち星を奪った。
　名短大付にしてみれば、悪夢のような後半だが、一瞬のプレーでこれほど明暗ところを変えた試合もめずらしい。

小松市女 11（5―5、6―4）9 昭和学院

【昭和】	得	
池田	0	GK
高野	2	FP
堀川	2	FP
荻原	0	FP
太田	5	FP
藁谷	0	FP
宮下	0	FP
星野	0	FP
PT	(4)	9

【小松】		得
本	GK	0
辻	GK	0
大西	FP	2
手打	FP	1
河原	FP	2
金山	FP	2
太田	FP	0
前	FP	3
東	FP	1
沢田	FP	0
中田	FP	0
竹	FP	0
PT	(3)	11

（審・森　浅田）

○…"事実上の決勝戦"という前評判。はたして激戦になったが小松は、後半、劣勢からのたたみかけで主導権を奪い返し、優勝へ大きく前進した。
　小松の立ち上りはよく、5分までに4点を奪い、10分5―2と開く順調さだった。
　しかし、このあと、二本のPTを決められて4―5とされ、16分1点を加えて6―4としたものの、とても、優位を感じさせる展開ではなかった。



【写真】女子決勝小松市女は豪快な攻撃と固い守りで徳山を寄せつけなかった
（スポーツイベント提供）

後半の立ち上りは、逆に昭和のペース。1分太田で5—6、3分1点を返されたが、再び二本のPTをつづけさまにとり6分ついに7—7、7分ポストから堀川が決めて8—7と逆転した。

○…こうなると小松も慌てるかとみえたが、さすがに、インターハイ、国体を制覇した底力はすごい。8分東がカットインで、ともかくタイとしたあと、じっくり構えて、昭和にペースをつかませず12分金山で9—8と先行、守りを固めはじめたのである。

昭和は、同点を狙って太田に射たせるが、小松ベンチは、充分にこれを読んでのディフェンスだ。

ほとんど、チャンスをつかませぬまま時間を経過させ、その間、16分PT、18分河原とソツなく攻めこんで11—8、大勢を決めてしまった。

終わってみれば、昭和の逆転も一瞬のこと、むしろ、その劣勢を覚悟していたかのように、そのあと13分間を完ぺきな攻守で飾ってみせた小松のチーム力は、高校生放れしているといってよく、夏までに、いっそうの飛躍が期待できる。

徳山、立ち直り切れず

一方の昭和も、大いに手応えのあった一戦といえ、今後の成長に楽しみを残した。

◇決勝

小松市女 14（9—2、5—4）6 徳山

	得	【小松】		【徳山】	得
GK	0	本		小山	0
GK	0	辻		大石	0
FP	5	大西		徳原	0
FP	2	金山		山口	3
FP	1	東		松田	3
FP	1	前		原	0
FP	4	太田		田中	0
FP	1	河原		岡村	0
FP	0	竹		寺西	0
FP	0	中田		栗田	0
FP	0	沢田		五嶋	0
FP	0	手打		久保	0
	14	(1)	PT	(1)	6

（審・吉田 大橋）

○…小松が3分大西、7分河原徳山が6分山口、11分松田。

互角の射ち合いでスタートしたが、このあと小松が早々と猛攻撃を奏功させ、徳山の野望を前半でくじいた。

10分すぎ、小松は河原の好リードからチャンスをつかみ、12分、14分大西のジャンプショット、さらに16分以降は、徳山の無理な態勢からのシュートなどを、ことごとく白軍ボールに結びつけて、1分おきに得点、あっという間に7点差をつけてしまった。

徳山は、いい形になっても、凡ミスでつぶしてしまうなど、焦りをのぞかせ、慎重に廻せばカットにあうなど、立ち直るヒマがなかった。

○…後半、それでも徳山は5分までに山口と松田で3点をあげ5—9とするのだが、小松は8分大西が再び口火のシュート、16分までに連続5ゴールして14—5、文句なしの優勝を決めた。

決勝戦にしては、起伏に欠けたが、それだけ小松のチーム力が他を引きはなしていたといえる。

これで小松は、昨年の福島インター・ハイ、秋の長野国体につづいて全国大会3連勝という偉業をとげたことになり、今後の高校女子界は〝ストップ・ザ・コマツ〟が、最大の焦点になった。

小松市女・谷口俊春監督の話

中心選手の手打が負傷で決勝に出られなくなったので、不安が多かったが、全員が、かえって奮起よい結果を生めた。

日頃から、〝全員の力で〟ということをいっていたので、嬉しい

春の優勝に満足せず、夏、国体も頑張りたい。明日から、早速、いつものように練習です。

〃〃〃〃小松市女〝3冠〟へスタート〃〃〃〃

□…小松市女が「同一チーム3大タイトル独占」という大偉業へスタートを切った。

53年度ということからすれば、昨夏、長野国体につづいての3冠独占だが、ご承知のように、今大会は、昨秋、メンバーが切り替った新チーム。

谷口監督は、「全国大会連勝記録を伸ばしたい」とだけしかいわないが、目標は、あくまで、同一チームの完全優勝とみた。

この偉業は、東西対抗の行われていた頃、26年度に男子の桜台（愛知）が「インターハイ（東京）」「国体（広島）」「東西対抗（愛媛）」〜いずれも11人制〜で優勝、達成しているが、その後、東西対抗が廃会になったこともあり、高校界で〈3冠王〉は、物理的に不可能だった。

高校選抜の発足で、再び、3冠が揃えられ、小松市女としては、絶好の照準ができた、といってよい。同校は、これまで48年、53年の2回「インターハイ」「国体」の二冠を獲得した〝実績〟がある。

◇おことわり。編集上の手ちがいで、掲載の遅れていた昨夏のインター・ハイ勝敗表を今号次頁以降に掲載いたします。

第29回全日本高校選手権男子成績

（昭和53年8月2～7日・福島県郡山市）

No.	学校	都道府県	得点
1	岩国工	山口	14
2	名古屋市立工	愛知	16
3	湯沢	秋田	12
4	浦添	沖縄	19
5	法政第二	神奈川	10
6	御坊商工	和歌山	16
7	青森商	青森	15
8	中越	新潟	11
9	財部	鹿児島	25
10	飯南	島根	7
11	石橋	栃木	20
12	東山	京都	11
13	八幡工	滋賀	10
14	聖光学院	福島	17
15	都城泉ヶ丘	宮崎	15
16	佐原	千葉	13
17	四日市工	三重	14
18	水島工	岡山	7
19	高松商	香川	15
20	麻生	茨城	19
21	生駒	奈良	13
22	広島修道	広島	19
23	上田	長野	14
24	佐世保西	長崎	15
25	川口工	埼玉	11
26	函館有斗	北海道	13
27	岐阜商	岐阜	10
28	新居浜工	愛媛	28
29	佐賀農	佐賀	11
30	日川	山梨	15
31	此花学院	大阪	9
32	北陸	福井	12
33	富岡	群馬	19
34	城北	徳島	11
35	久留米工大附	福岡	41
36	古川	宮城	8
37	鈴蘭台	兵庫	13
38	マリスト学院	熊本	17
39	大石田	山形	6
40	学法石川	福島	13
41	小松工	石川	13
42	倉吉工	鳥取	13
43	中央大学附	東京	20
44	大分電波	大分	11
45	土肥	静岡	18
46	幡多農	高知	7
47	花巻北	岩手	19
48	氷見	富山	19

P.T.C (2-1)

決勝 13－17（5-8、8-9）

優勝　久留米工大附属高

第29回全日本高校選手権女子成績

（昭和53年8月2～7日・福島県郡山市）

No.	学校	県
1	小松市立女	石川
2	住吉学園	大阪
3	昭和学院	千葉
4	佐賀女短大附	佐賀
5	高松南	香川
6	米沢女子	山形
7	浦添商	沖縄
8	夙川学院	兵庫
9	仁愛女子	福井
10	青森西	青森
11	落合	岡山
12	明倫	神奈川
13	日川	山梨
14	彦根南	滋賀
15	島原農	長崎
16	古川商	宮城
17	松江市立女子	島根
18	郡山女子	福島
19	秋田和洋女子	秋田
20	市立国分実	鹿児島
21	奈良市立一条	奈良
22	栃木女子	栃木
23	新潟江南	新潟
24	徳山	山口
25	城北	静岡
26	御坊商工	和歌山
27	小諸商	長野
28	熊本女子商	熊本
29	都立三宅	東京
30	津女子	三重
31	花巻北	岩手
32	大分東	大分
33	倉吉北	鳥取
34	有磯	富山
35	水海道第二	茨城
36	新居浜市立商	愛媛
37	明徳商	京都
38	東海大学第五	福岡
39	大正	高知
40	長沼	福島
41	富田女子	岐阜
42	吉井	群馬
43	辻	徳島
44	函館商	北海道
45	岡崎	愛知
46	川口北	埼玉
47	小林商	宮崎
48	山陽女子	広島

佐賀女短大附（4）－高松南（5）：P.T.C（3-0）

優勝　小松市立女高

決勝　14－6（7－1、7－5）

日本勢、勝ち越す

日韓女子社会人交流

第7回日韓女子社会人交流は、韓国から仁川市庁（李慶夏団長ら役員4、選手12）を招いて6試合を行った。

世界選手権（昨年12月、チェコ）初出場で意気あがるとみられた韓国女子だが、仁川市庁は、攻守にもう一つハリがなく、緒戦と最終戦で勝利を握っただけ。2勝4敗の成績に終った。

これで7回の通算成績は、日本側の33戦20勝1分12敗である。

◇

日本協会の強化サイドは、今回の韓国代表は、同国ナショナルの切り札・李相玉をもつ韓国造幣公社（ソウル）になるものとみて、手ぐすねを引いていたのだが、本誌2月号既報のとおり、同チームは得失点差で、仁川市庁に勝ちをゆずり、姿を見せなかった。

しかし、李南子、朴妙順、朴玉景、張泉姚など、おそらく今秋のオリンピック予選の候補選手として名のあがるであろう有力プレイヤーをもつ仁川であれば、充分に〃韓国の近況〃を知るに足るものと思われた。

日本側各チームが、秋に備えてこれまで以上に、今回の対戦に意欲を示していたのは、当然だが、結果的には、仁川側に、かつての韓国代表の〃高まり〃を感じることができず、いささか拍子抜けのシリーズとなった。

韓国側が、手の内を控えたのかどうかは別としても、日本勢は、ジュニアが2連勝するなど好ムード、日本リーグ最上位にあるジャスコ（三重）、ブラザー工業（愛知）も、完勝に近かった。

全日本女子・池田監督は「勝ったといっても単独チーム。日本側はジュニアの勝利は評価してよいが、秋の見通しが立ったというものでもない」と、手綱を引き締めているが、最初の手合わせで、大きく勝ち越せたことには満足の表情を浮かべていた。

仁川の戦術、技術は、とり立てて注目すべきものはなかったが、相変らず、各選手に備ったボールゲーム・センスは光るものがあり、せり合いになった時や、プレッシャーの多い試合では、こうした力が大きな〃戦力〃になるハズだ。

この点、日本選手（ナショナル・プレイヤー）は、まだまだ不充分で、特にモントリオール組と若手の差は、埋まっていないといわれるのは、気がかりである。

強化サイドは、6月の学生交流をみて、〃韓国の傾向〃を再チェック、対策をたてるとしているが一方、韓国側は、仁川関係者の話では「これから候補選手を選ぶ。5月の国内種別選手権が、大きなヤマ」といっており、両国の、本格的な〃熱い闘い〃は、これからといった印象をうけた。

なお、実業団ジュニアのチーム構成で、GKだけは、東西の枠をはずし選抜された。

▽第1戦（3月16日・大阪市東淀川体育館）

仁川市庁（韓国） 22（10－11、12－7）18 大和銀行

得	【仁川】		【大和】	得
0	崔聖姫	GK	丸　山	0
0	安美玉	GK	中　尾	0
0	鄭述礼	FP	宮　本	2
0	金貞愛	FP	内　海	0
3	李南子	FP	富　家	2
3	朴妙順	FP	増　永	2
3	朴玉景	FP	東　木	5
6	張泉姚	FP	久保田	1
3	朴熩花	FP	千　原	2
2	黄分徳	FP	米　山	2
1	金玉花	FP	西　田	2
1	梁英淑	FP	米　盛	0
22	(1)	PT	(0)	18

（審・井上、光嶋）

▽第2戦（3月18日・四日市市体育館）

ジャスコ 18（11－3、7－7）10 仁川市庁

得	【ジャ】		【仁川】	得
0	山本一	GK	崔聖姫	0
0	矢　部	GK	安美玉	0
0	平　田	FP	李南子	4
5	松　下	FP	金貞愛	0
0	林	FP	朴玉景	1
1	金　田	FP	鄭述礼	0
0	松　岡	FP	朴妙順	1
3	河　田	FP	梁英淑	0
6	山本二	FP	黄分徳	0
0	若　田	FP	朴熩花	0
2	横　山	FP	張泉姚	3
1	辻　本	FP	金玉花	1
18	(1)	PT	(0)	10

（審・金沢、安芸）

▽第3戦（3月19日・名古屋市体育館）

西日本実業団ジュニア 15（6－5、9－7）12 仁川市庁

得	【東日本実業団J】		【仁川】	得
0	寺　沢（日立栃木）	GK	崔聖姫	0
0	井　村（立石電機）	GK	安美玉	0
3	岩　城（ビクター）	FP	鄭述礼	1
0	石　井（大崎電気）	FP	金貞愛	0
0	大　高（日立栃木）	FP	李南子	2
0	徳　渕（大崎電気）	FP	朴妙順	3
0	毛　塚（日立栃木）	FP	張泉姚	3
0	寺　西（東京重機）	FP	朴玉景	2
1	寺　村（ビクター）	FP	黄分徳	1
3	水　上（日立栃木）	FP	朴熩花	0
2	伊　藤（ビクター）	FP	金玉花	0
6	西（大崎電気）	FP	梁英淑	0
15	(4)	PT	(0)	12

（審・角、大矢）

▽第4戦（3月20日・名古屋市体育館）

東日本実業団ジュニア 17（6－9、11－6）15 仁川市庁

得	【西日本実業団J】		【仁川】	得
0	塙（ビクター）	GK	崔聖姫	0
0	矢　部（ジャスコ）	GK	安美玉	0
0	増　永（大和銀行）	FP	鄭述礼	0
2	山　村（ブラザー）	FP	張泉姚	5
2	植　田（ブラザー）	FP	金玉花	2
4	山　本（ジャスコ）	FP	金貞愛	0
4	辻　本（ジャスコ）	FP	朴玉景	2
2	薮　田（立石電機）	FP	朴熩花	0
0	西　田（大和銀行）	FP	朴妙順	0
2	姫　野（立石電機）	FP	黄分徳	2
0	則　武（ブラザー）	FP	李南子	4
1	富　家（大和銀行）	FP	梁英淑	0
17	(3)	PT	(5)	15

（審・南、岩永）

▽第5戦（3月21日・名古屋市体育館）

ブラザー工業 19（10－8、9－4）12 仁川市庁

得	【ブエ】		【仁川】	得
0	山　本	GK	崔聖姫	0
0	屋比久	GK	安美玉	0
5	中　川	FP	鄭述礼	1
6	山　村	FP	梁英淑	1
3	植　田	FP	金貞愛	0
3	宮　平	FP	朴熩花	0
2	則　武	FP	朴妙順	1
0	平　井	FP	李南子	3
0	岡　山	FP	朴玉景	2
0	塩　谷	FP	金玉花	0
0	竹　内	FP	黄分徳	1
0	杏　原	FP	張泉姚	3
19	(1)	PT	(4)	12

（審・浅田、森）

▽第6戦＝最終戦（3月22日・小松市立体育館）

仁川市庁 13（4－7、9－3）10 北国銀行

得	【仁川】		【北国】	得
0	崔聖姫	GK	酒　谷	0
0	安美玉	GK		
0	金貞愛	FP	庄　田	1
0	梁英淑	FP	中　山	3
0	朴熩花	FP	本　田	1
5	張泉姚	FP	木　戸	2
5	朴玉景	FP	千　歩	1
0	朴妙順	FP	八　木	1
1	李南子	FP	山　際	1
1	黄分徳	FP	埼　田	0
1	金玉花	FP	木　内	0
0	鄭述礼	FP	坂	0
13	(2)	PT	(2)	10

（審・若山、村井）

学生代表に釜山産業大

【速報】6月に日本で行われる日韓学生交流の韓国代表は、男子が国立全北大学、女子が釜山産業大学に決まった模様。

女子の釜山産大は、旧称・韓星女子大といわれるが、本誌〆切りまでに確認はとれていない。

また、今夏の日韓高校交流は、日本側が遠征して行われるが、全国高体連では、男女とも「関東選抜」を派遣することに内定した。

「ヤング全日本」改称

ジュニア問題
新たな出発点に

日本協会では、本誌既報のとおり、今秋行われる第2回世界ジュニア選手権に男女ともエントリー初出場することになっているが、47年度から、いち早くジュニア対策として「ヤング全日本」を作るなどしているものの、本格的なジュニア対策はなく、ここへ来て、メンバー編成など、大きな問題をかかえ、オリンピック対策とともに、新・強化部は早急に、この問題の解決をせまられている。

× × ×

47年度からの「ヤング全日本」は、順調に選考され（本誌前号34〜36頁のリスト参照）てきたが、当初の意気ごみに比べ、最近は、強化関係者も、積極的な姿勢を示さなくなった。

メンバーさえも、50〜53年度は公表されていず、49年度に選考された選手の〝有資格者〟（22才以下）が、単にリストに残っているだけだった。

しかし、昨年度、男女ナショナルチームの現場サイドの強い要望もあって再編成され、女子も初めて、そのリストアップが行われた。

ところが、世界ジュニア選手権への出場を果たす目的での編成ではなく、あくまで「ナショナル予備軍」的カラーが強いため、このまま、世界ジュニアに向かうことは難しく、日本協会では、改めて各加盟団体へ、候補選手のノミネートを求めなければならなくなった。

渡辺慶寿強化部長（日本協会常務理事）は、「各連盟（加盟団体）の推せん選手を参考に、5月末までに男女各30名程度のジュニア・ナショナル候補選手を選び、その候補選手の関係者とあったうえでヤング全日本の名をジュニア・ナショナルに改めて、発表するつもりだ」という。

こうした慎重な構えをみせるのは、ジュニアの中に、高校生が含まれることを意味するもので、すでに、強化部では、3月の全国高校選抜大会（名古屋）で、チェックを終わっている模様だ。

男子の世界ジュニア選手権の出場資格は「昭和三十三年以降生まれ」と規定されており、別表の53年度ジュニア（ヤング全日本）のうち、5名がすでに権利がない。

このことからも、選手の新選考は必要なわけだが、逆に、有資格の9名は、そのまま54年度ジュニアに、スライドすることが確定的である。

一方、女子の場合は、昨年度に発表された18名のほとんどは、世界ジュニア選手権の出場資格である「昭和三十四年以降生まれ」で新たに追加する必要もないが、学連筋から10名内外のリストが届いているようで改めて、実業団界も洗いなおしのうえ、〝再発表〟ということになりそう。

ナショナルに若手編入も

現場サイドの意向は、すでに女子で池田監督が、東ドイツ戦（2月）で、GK矢部（ジャスコ）ら数名を、ナショナルに引きあげてプレーさせたような形を、今後は、いっそう強く望んでおり、竹野男子監督などは、「若いからジュニアというのではなく、ナショナルの中に、ジュニアへの資格を持っている者がいる、というケースがあっていい」としている。

竹野監督は、その腹案として53年度ジュニア（別掲）全員を、54年度には自動的にナショナルへ加えたいようだし、池田監督も、伊藤（ビクター）水上（日立栃木）、GK井村（立石）・矢部の4名は「すでにナショナル」と言明している。

強化部が、このあと、日本協会に対し、どのような方向と理解を求めるか、注目されるところだが世界ジュニア選手権が、一日ごとに迫ってくるだけに、慎重さとともに、敏速な行動が欲しい。

また、世界ジュニア選手権は、昨年くれ、その参加を決めながら今年度予算に組みこまれていず、体協補助がゼロの場合は、遠征費用はもちろん、国内合宿費まで、すべて参加者側負担となる。学生高校生からのノミネートがあっても、この問題がネックとなり、リストアップまでこぎつけられないといわれ改善が望まれている。

53年度男子ジュニアナショナル（旧ヤング全日本）

・GK	大畑　孝広	（日大ＯＢ）	183cm	昭32
	原田　昭昌	（大崎電気）	181	昭33
・FP	滝口　孝之	（筑波大）	184	昭32
	矢島富士雄	（筑波大）	185	昭32
	西山　清	（筑波大）	181	昭34
	山口　哲史	（日大）	178	昭33
	仲田　稔	（日大）	184	昭33
	田口　長雄	（中大）	186	昭34
	猪野　栄一	（中大）	185	昭34
	阿部　伸	（早大）	190	昭34
	松井　幸嗣	（日体大）	178	昭32
	北川　勉	（慶大）	180	昭33
	辻本　孝仁	（日体大ＯＢ）	179	昭31
	金井　克志	（大崎電気）	192	昭35

（注）年数は生年を示す。

自衛隊勝田など参加を表明

日本リーグ二部（アダルト・リーグ）発足にメド

懸案の日本リーグ二部（アダルト・リーグ）が、どうやら発足の見とおしとなり、6月の第4回リーグと同時にスタートする可能性がでてきた。

いちぢは、その発足が危ぶまれていただけに、日本協会筋も、ひとまず安心の表情だ。

日本リーグは、かねてから加盟チームの負担減と、開催地の調整を容易にするため一部の縮少にともなう二部の発足を決め、準備を進めていたが、このほど、男子では6～8チーム、女子は最低3チームの〝加盟〟が見こまれることになり、6月23日開幕予定の一部リーグとともに、すでに二部の別名として決まっている「アダルトリーグ」の名のもとに、スタートすることが確定的となった。

関係者は、男女とも加盟チーム名は「まだ発表の段階ではない」としているが、男子は、〝一部〟からふるい落とされた大崎電気（埼玉）、三景（東京）が、捲土重来（けんどちょうらい）を期して参加するほか、2月の第10回全国実業団トーナメントで初優勝した自衛隊勝田（茨城）も加わることがはっきりしている。

この3チームの関係者は、2部加盟を明言しており、他の3～5チームは、本誌の問い合せには「検討中」という。

しかし、トヨタ車体（愛知）は、昨年すでに、2部での活動を明きらかにしており、まず間違いなくこのほか、新日鉄系が、斎藤日本協会々長の線で有力とみられる。

こうなれば、リーグ側の、5チーム揃えば、という条件を満たすことになり、「アダルト・リーグ」の発足は、確実である。

一方、女子は、旧日本リーグの東京重機工業（東京）、ムネカタ（福島）の〝加盟〟が決定しており あとの一チームは、和歌山県商工信用組合（和歌山）、三洋電機（岐阜）のどちらかとみられる。

消息通は、和歌山の参加がOKとなったので、女子も発足を決めたと伝えているが、本誌〆切り（4月5日）までには、確認されていない。

このままいくと、競技法式は、男子が1回総当り、女子が2回総当りとなる。

なお、日本リーグは、全日本学連や、全日本教職員連盟などからの推せんも期待していたが、両連盟とも、昨春以来、ほとんど反応らしいものを示していないな。

「アダルトリーグ」に関しての正式な発表などは、早ければ4月末、遅くとも5月中旬の日本リーグ運営委員会後には行われることとなろう。

実連関係者の努力実る

〇…日本リーグが、一・二部制を採用することに決めたのは昨年3月。

関係者に云わせると52年から、この問題は出ていたのだそうだが〝2部落ち〟というイメージダウンにつながるだけに、現加盟チームは、基本的には了解していてもいざとなると、なかなか、移行へ踏み切れなかった。

女子などは、いったん一部6チームに決めながら、その後、8チームに押し戻すようなことが起き男子も、つい最近まで、くすぶりが残っていた。

しかも、予備シーズンともいえる昨年、男子で2部申しこみをしたのは1チームだけ、女子も、カムバックを目指す大和銀行（大阪）が手つづきしただけという〝低調〟さで、はたして発足できるのか、といった声が大きくなっていた。

〇…リーグ側は、面子（メンツ）の上からも、二部発足に必死となったが、ある実業団チーム関係者の言を借りれば「説得力不足」で腰をあげさせるまでには至らず、空転の日がつづいた。

日本リーグ発足の基本姿勢をうけついで、今回も全日本学連や、同教職員連にも、希望チームの推せんが依頼されたが、両連盟ともほとんど積極的な動きを見せていず、昨年末には「二部はできない」といった声が聞こえ、リーグ内関係者でさえ、そうしたニュアンスの発言をする人もでる始末だった。

〇…一気の二部制採用と、それにともなう反響を心配していた日本協会・荒川理事長は、この問題には、だいぶ神経をとがらせ「いったん決めた以上、なんとしても二部制確立を果たすべきだ」とリーグ関係者に強く望んでいたようだ。

結局は、二部の頼みの綱は、実業団ということになり、1月の全日本総合選手権（東京）、2月の全国実業団トーナメント（大阪）で、実連関係者が、〝有望チーム〟に打診、この努力が実って、どうやらメドがついた。

〇…参加予定チームのなかで異色なのは自衛隊勝田。

あらゆるスポーツの日本リーグで自衛隊系のチームは、これまで一つもなく、勝田の参加が〝第一号〟となる。

同チームの責任者で、全日本自衛隊連盟理事長でもある富永弥氏は「すでに隊の了解も得ており、自衛隊球界の目標であるオリンピック選手輩出とあわせて、一部入りを大きな目標にしたい」と張り切っている。

〇…なお、リーグ側は、二部を「アダルト・リーグ」と呼称することに決めているが、本誌が取材した範囲では、関係チームは「意味の判らぬネーミング」としており、「二部」では参加しにくいだろうと苦心したリーグ関係者の考えかたとは、くいちがっている。

「アダルト・リーグ」にこだわりすぎると、せっかくのスタートを前に、また、ひともんちゃく起きかねない。

（杉山）

日本リーグ、6月23日開幕

新体制（既報）となった日本リーグは、近く運営委員会を招集するが、すでに今年の第4回リーグの日程については大筋が決定している。

開幕は6月23日名古屋で、前期は7月22日まで。後期は9月15日から10月28日までの予定。沖縄、島根、岩手、大分などで初開催。

新発売「ハンドボールスペシャル」

世界を制したスペシャル・ラバーシェルソールとは!?

●adidasは世界のスポーツシューズ総合メーカーです。●adidasの3本線はオリジナルです。

ヒールカウンター

adidasの発明。ヒールカウンターはタフな素材でショックや危険からヒールを守り、下肢を支え、3本線とともに素晴らしい一体感を形成する大切な機能を果たしています。

3本線

adidasのスポーツ力学、足型学を集大成したユニークなアーチサポーター。「土踏まず」を深々と抱えこみ、これ以上ありえないと評価される足との一体感を約束します。

Napoli

3185ナポリ
(赤×白) ¥7,500
●モデル「アテネ」の色違い

Athen

3150アテネ
(青×白) ¥7,500
●ベロアレザー甲皮
●シェルソール

■ベロアレザー甲皮。つま先、かかと強化。
■スペシャル・ラバーシェルソールは、3つの吸盤とストップ、回転グリップ、各機能をもつ3ゾーンにわかれ、床を正確に、そして安定感ゆたかにとらえ、その結果、あなたは、スピードとパワーに乗った大胆なプレーを、狙い通りに決められます。また、このソール構造は、関節への衝撃からくる傷害を防ぎます。
■つま先部には、9個の通気孔があり、靴内の熱気からくる疲れを抑えました。靴舌にも通気孔を採用。
■足首、かかと、靴舌に、はきごこちを高めるパッドを採用。

Hand ball Special

(青×白) ¥19,000

adidas®

さ、すべてのスポーツマンに3本線のNo.1感覚を。

●お求めはadidas特約店で。

adidas 総代理店 兼松江商株式会社　発売元 兼松スポーツ用品株式会社 〒532 大阪市淀川区木川東2-5-3 ☎06-305-1431 〒101 東京都千代田区内神田1-11-13(鈴木ビル) ☎03-295-5611

全日本実業団選手権

男女とも日本リーグ前哨戦

第20回全日本実業団選手権が、5月18日から20日まで名古屋で男子、25日から27日まで甲府で女子に別かれて行われる。

今春2月、第19回大会を開いたばかりだが、日本協会の国際行事の影響で、わずか三カ月のインターバルでの顔合せとなった。

しかし、各チームとも新人を加えての初大会、日本リーグの前哨戦としても、見逃せない。

大同を追う湧永、本田

◆男子（10チーム）　組み合わせをみると、前回2位の大同特殊鋼（愛知）は、すんなり決勝へ進めそうだが、連勝を狙う湧永薬品（広島）は、今回も、順当なら準決勝で、本田技研鈴鹿（三重）とぶつかる。

本誌の得た情報による新戦力では、湧永に志賀（大阪体大、全日本）、本田にGK大畑(日大、全日本ジュニア）が加っているが、まずは、前シーズンの主力が、そのまま対決するとみてよい。

湧永有利にはちがいないが、本田も、新シーズン早々、おくれをとるようだと、今年もまた一年間〝二強〟への肉薄を逸することになりかねない。

勝てないまでも、という表現は本田に失礼だが、互角の〝実績〟は残しておきたいところ。

決勝は湧永×大同が本命。本田×大同となれば、幕あけとして申し分ない。

どちらのカードになっても、大同が、ホームコートの利を活かしそう。新人では、善岡(岩国工高)が目立つ程度だが、2月、湧永に敗れて以来、王座奪還への意欲はすさまじいものがあるという。

早ければ、この大会から闘将・野田（現コーチ）が監督をつとめるという話もあり、注目される。

ダークホースには、日新製鋼（広島）と三陽商会（東京）をあげたい。

日新は、前回、初めて三位となったが、このランクを保持して、日本リーグを目指す。

上昇ムードの三陽は、大崎電気から大熊（全日本）が転籍した模様で、これは大きい。

このほか、三景(東京)が大同との一戦で、カムバックの足がかりをつかむような試合ぶりを示すかどうかに、期待がかかる。

〝戦国時代〟の様相もちこむ

◆女子（12チーム）　男子同ようどのチームも、前シーズンの主戦力での勝負とみていい。

となると日本ビクター（茨城）×ジャスコ（三重）の準決勝が、大きなヤマ。

ジャスコは、名GK久保が退陣したが、攻撃力ではビクターを上回る多彩さがある。

ビクターは、今季も加藤を補助する穂積、小島らのデキがポイントだ。一点を争う試合になればジャスコにブがあるとみたいが、ビクターが、せり合った時、どこまで力をつけたかを知るには、かっこうの一戦となろう。

一方のパートは、ブラザー工業（愛知）×北国銀行(石川)の準決勝だろうが、北国に前大会の好調（準優勝）がどう結実しているかがみもの。

リーダー山際が勇退しただけにはたして、今回も快進撃できるかどうか不安だが、日本リーグを面白くするためにも、北国の一暴れを、もういちど期待したい。

波乱の目となりそうなのは、立石電機(熊本)、日立栃木(栃木)、大崎電気(埼玉)。

特に、大崎は、絶好調といわれブラザー戦は面白くなりそう。

立石も、緒戦がジャスコだけにここを取って、一気に波に乗ろうとするだろう。

日立も＜勝負の年＞を迎えている。島田の安定があれば、優勝戦線へ割りこめる力は、充分ある。

しかし、順当ならば、決勝はジャスコ×ブラザー有力、つづいてビクター×ブラザーが考えられる。

ブラザーは、全日本優勝チームとしての意地を、どうしても見せたいだろうし、中川、宮平、GK山本らの自信で初優勝の可能性は充分にある。

この両カード以外では、ブラザーに代って日立または北国だが、そうなるとビクター、ジャスコ側の有利は否めない。

このほかのチームでは、大和銀行(大阪)、東京重機（東京）の試合ぶりに興味が集まる。

大和は、1回戦のムネカタ（福島）戦は、絶対に負けられないしビクターにも食い下れるだけ、食い下りたかろう。

だが、ムネカタは、昨夏のインター・ハイで3位となった長沼高（福島）の主力・広田、岡部、大河原を加えて、即起用を伝えられるだけに、大和銀行も楽観は許されない。

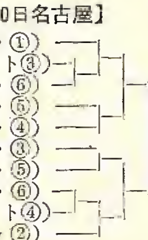
重機は、あわよくば北国戦もと狙っており、この闘志、捨て難い。

男子に比べ女子は、今シーズンも〝戦国時代〟〝乱立時代〟といわれるだけに、この大会のなりゆきも、平担ではなさそうだ。ましてや、新シーズンになって日が浅いのだから…。

（S）

【男子・5月18～20日名古屋】

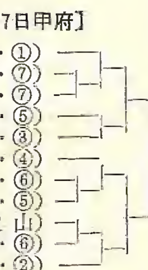
湧永薬品（広島・①）
日鉄建材（大阪・ト③）
自衛隊勝田（茨城・⑥）
本田技研鈴鹿（三重・⑤）
三陽商会（東京・④）
日新製鋼（広島・③）
大崎電気（埼玉・⑤）
三景（東京・⑥）
神戸製鋼（兵庫・ト④）
大同特殊鋼（愛知・②）



・○内は前回順位
・トは全国トーナメント

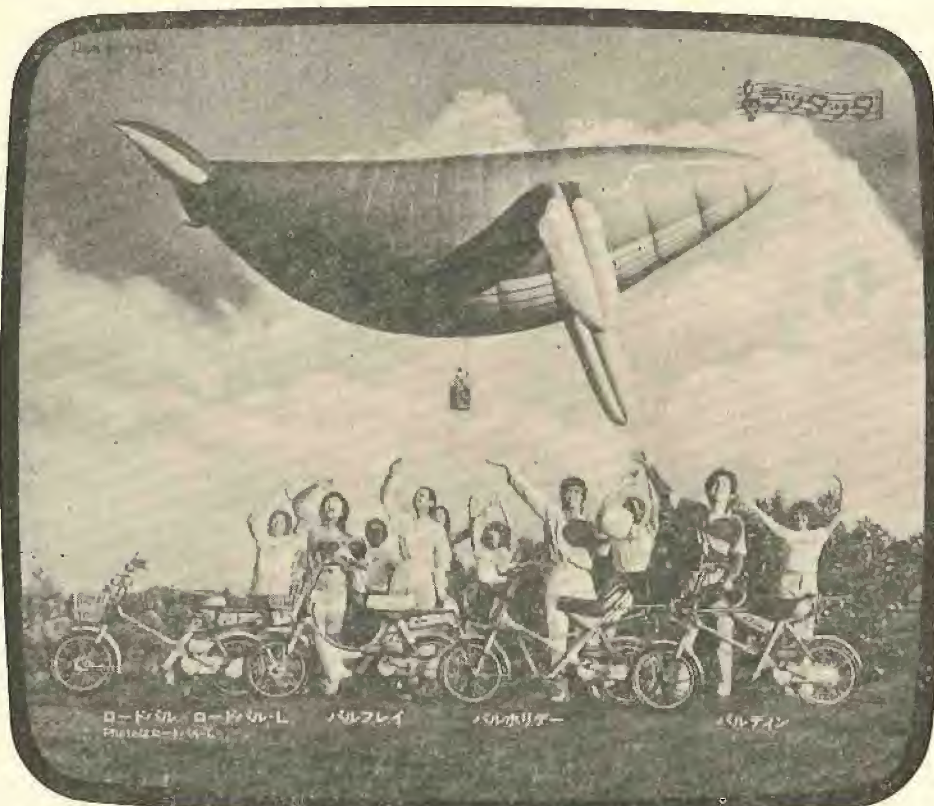
【女子・5月25～27日甲府】

日本ビクター（茨城・①）
ムネカタ（福島・⑦）
大和銀行（大阪・⑦）
立石電機（熊本・⑤）
ジャスコ（三重・③）
日立栃木（栃木・④）
大崎電気（埼玉・⑥）
ブラザー工業（愛知・⑤）
和歌山商工信組（和歌山）
東京重機（東京・⑥）
北国銀行（石川・②）



・○内は前回順位

パルパル エブリボディ。



5タイプそろったホンダのパルシリーズ。乗りやすさは共通。お好きなタイプが選べます。

ロードパルの仲間たちが、たくさん走りはじめています。あの道、この道が、急にバラエティ豊かになりました。スタイルいろいろ。色とりどり。乗る人の個性と、パルの個性が…なぜかぴったり合うのです。5タイプそろったパルのうち、あなたのお気に入りはどれですか。もちろん、やさしさ・乗りやすさは、みんなおなじ。気軽にどこかへ散歩、としゃれてみたくなります。

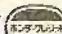
パルはユニーク。新しい仲間も、個性たっぷり。●パルフレイ：エレガントなデザイン。乗り降りのラクなU字フレーム(車体中央)。泥ハネから足もとを守るレッグシールドなど親切設計が特長。●パルホリデー：ユニークなヒップアップ・シート。しゃれた感覚のバーハンドル。タウンで似合うバイクです。●パルディン：スリムなパイプフレーム、イキなクロームメッキ・フェンダーがナウな感じ。

ごぞんじですね、ラッタッタ。 ロードパル	標準現金価格 ¥59,800
クイックスタート、とってもべんり。 ロードパル・L	標準現金価格 ¥64,800
乗るかたへの心くばりがいっぱい。 パルフレイ	標準現金価格 ¥75,000
しゃれたスタイル、タウンで似合う。 パルホリデー	標準現金価格 ¥79,000
ヤングの感覚、ナウなフィーリング。 パルディン	標準現金価格 ¥79,000

ヘルメットをかぶろう HONDA

「私のパル」を持ちましょう。

パルスクール 原付免許の取り方だけでなく、正しい乗り方指導までも実施しているのが「パルスクール」の大きな特長。ていねいにご指導しています。



わずかな頭金とかんたんな手続きでお求めいただけます。お支払い方法は、ご予算にあわせていろいろ。クレジットカードはいりません。

★パルスクールとクレジットの詳細は、ホンダ販売店でどうぞ。

本田技研工業株式会社鈴鹿製作所
●〒513●三重県鈴鹿市平田町1907●ＴＥＬ鈴鹿0593：78－1212(代表)

9月、オーストリア(男女)招待決まる

日本協会は、モスクワ・オリンピックアジア地域予選への強化対策として、今春9月、オーストリアから男子ナショナルチーム、女子「ハイポ銀行セントポールテンHC」を招き、国内各地で、男女それぞれ5～7試合を行うことを正式に決めた。

オーストリア男子は、2月の世界選手権Bグループ9位だが、同大会直後、一九八二年のロスアンゼルスオリンピックへ向けて5年計画を発表、積極的な強化体制を布いたばかり。

日本とは、これまで対戦の記録がなく、現在、西ドイツ転戦中の全日本が、4月12、14、16日初交流することになっている。

一方、女子の「ハイポ銀行」はかねてから来日を希望していた単独チームで、クラブの歴史は浅いが、近年めきめきと力をつけ昨年・オーストリアチャンピオンとなり、今シーズンも3月10日現在、10チーム2回総当りの選手権リーグで12戦12勝、トップを走っている。

日本にとっては、男女とも、手ごろな相手といえ、オリンピック予選を前に、絶好の仕上げとなろう。

強化部では、ジュニア世界選手権に出場する男女ジュニア・ナショナルとの対戦を強く希望しており、日本協会は4月21日の常務理事会（新年度初）で、この問題を話し合う。また、オーストリアの9月来日によって、一部で内定を伝えられていたスウェーデン男子「バイキンガルナス」の来日はとりやめになった。

フランスはベストメンバー

全日本学生と南太平洋へ

フランス協会は、このほど、4月7日から14日まで南太平洋諸島で、全日本学生選抜軍と対戦するフランスナショナルのメンバーを発表した。

エースとみられる181㎝のジェフロイ、197㎝のジロー、GKバリーノなどベストメンバーを揃えている。〝地元〟南太平洋諸島にも、すでにハンドボール活動はあると伝えられる。

なお、全日本学生選抜軍は、藤松博団長、平岡秀雄監督ら役員3選手15名でメンバーは前号既報。

荒川氏、再び体協理事に

日本体協は、3月28日東京で評議員会を開き役員を改選、会長に河野謙三氏（元・参議院議員）を三選したほか、理事三十四人を選出、日本ハンドボール協会の荒川清美氏（理事長）は、前期につづいて当選、二期連続三度目の理事となった。

荒川氏は、あと二年の任期を残すJOC（日本オリンピック委）常任委員もつとめているが、ハンドボール畑から推された役員が、日本体協理事とJOC常任委員を二期連続（計4年）するのは初めてのこと。

また、副会長の保坂周助氏は、学識経験者として理事に選ばれた。

◇

日本体協理事会は、4日の会議で、荒川清美氏を、日本スポーツ少年団担当委員長に選んだ。

日本協会理事出揃う

空席となっていた日本協会北海道選出理事は、このほど石切山稔治氏の7選に決まった。

これで新年度（54・55年度）日本協会理事は全定数が出揃った。

（注）石切山理事の担当は、本誌4月号で競技部技術委員会とお伝えしましたが、普及指導部に変更されました。

内海会長ら再選・学連

全日本学連は、このほど、2月4日東京で開いた53年度第5回総合役員会の議事録を関係者に発送した。

それによると同日、役員（理事）の改選が行われ、次のようなスタッフとなった。

▽会長　内海倫▽副会長　藤松博▽理事長　中沢重夫（会長推）▽理事　奈良久(北海道)、斉藤節郎(東北)、若山博(北信越)、岩見恒典(東海)、福地賢介(関東)、前田吉弘（関西）、藤田信義（中四国）、佐伯慈一（九州）、久田暁、田中秀夫、滝口三郎、藤原甫、大西武三、久保義雄、岡田修（以上会長推せん）

なお、審判担当は藤田、強化・技術担当は藤原、大西の各理事。

学生役員は委員長が猪瓜欣也君（日体大）。

スポーツイベントのベスト7

「ハンドボール」紙（月2回）を発行しているスポーツイベント社は恒例事業として同社選定の年間最優秀選手男女各1名と、男女年間ベストセブンを設けることになり、3月25日号で、53年度の選手名を発表した。

◇男子、▽年間最優秀選手　蒲生晴明（大同）▽年間ベストセブンGK　福井秀人(湧永)FP　花輪博、大原真造、蒲生(以上大同)津川昭、穂積豊彦(ともに湧永)、佐藤寛二（本田技研鈴鹿）。

◇女子　▽年間最優秀選手　加藤美起子(日ビ)▽年間ベストセブンGK　山本福代(ブ工)FP　穂積美保子、加藤(ともに日ビ)、松下仁美、河田栄子（ともにジャスコ）、中川しげみ（ブ工）、平下涼子（立石）。

プレス・ルーム ＜19＞

杉　山　　茂
――――(ＮＨＫ運動部)―

■プレ・オリの参加、望みうす

今夏7月、ソ連で行われる〝プレ・オリンピック〟に、どうやら日本は参加できそうにない。

この大会は、ソ連の国内イベント〝スパルタキアーダ〟を、今年だけ国際化して行ない、来年のモスクワ・オリンピックのリハーサルとするもの。ハンドボールは会場の都合でキエフ市で開かれるが東西ドイツなど有力チームの出場が予想され、日本協会の強化サイドは、招待を望んでいた。

しかし、昨年あたりから、ソ連は、自国の強化に役立つような国しか招かないだろうという憶測がとび、事実、昨秋、アイスランドでの国際ハンドボール連盟総会に出席した荒川理事長がソ連代表とかけ合った時も、言を左右にされた、そうだ。

ほかの大会とちがって申しこみ制ではないだけに、仕方がないが未確認ながら、男子ではチュニジア、女子ではノルウェー、デンマークあたりにも声がかかっているそうだから、あながち、〝実力〟で顔ぶれを選んだとも思えない。

今になって書くのは、おかしいかもしれぬが、昨年だったか、ソ連が来日を希望した時、遠征費のほか一万ドルを要求されたばかりに断ったのが、案外響いているのではないか。

当時、荒川理事長に「少々の出費でも、その時、プレオリの交渉をして、OKをとれたら安いものだ」と話したら、「(プレオリに)確実に出れるなら、それもよいが…」ということだった。

結局、ソ連は招かないで終ったが、あとで聞いて驚いたのは、執行部などの会合で、そうした話し合いはいちどもなく、目先の一万ドルだけで、結論を出したというのである。

僕は、日本協会の最大の欠点は展望力の無いことだと思う。

この話にしても、たしかに〝プレ・オリ〟の確約は、とれぬまでも、ソ連と接触することが、オリンピック前後、なにかの役に立つのは明らかではないか。台所を気にする理事長はともかく、一人くらい、そうした発案、発言はできぬものか。

4月のフランスとのタイアップによる南太平洋遠征にしてもそうだ。

この話は、一年以上も前から持ちあがっていたのだから、巧く運べば、ヨーロッパ遠征の全日本の日程と合わせ、文字どおり滞同遠征、帰途にフランス・ナショナルを日本に招くことも可能だった。

こうした計画は、ただのいちども持ちあがらず、あげくのはては代役の全日本学生が、現地で冷や汗をかくことになりそうだなどと聞くと、ふんがいもしたくなる。

〝プレ・オリ〟が近づくと、きっと関係者は、なぜハンドボールは?と騒ぐだろう。気のりはしなかったが、その〝説明〟のため、知ってる話を書きとめた。

■熱気あふれた上級コーチ講習

3月はじめ、上級コーチ講習会に出席のチャンスがあった。

久しぶりに、嬉しい会合に出会えた、というのが印象である。

参加されたかたがたの、ハンドボールへの情熱が、ひしひしと伝わり、なにか、日本ハンドボール界の前途に、たくましい光を見る思いだった。

一つの講議を終ったあとの、ほんの僅かな休憩時間でも、あちこちで、いろいろな〝ハンドボール談議〟が聞かれた。

技術の話あり、戦術の話あり、レフェリングの話あり、協会政策の話あり、熱っぽかった。

何よりも気にいったのは、若手たちが、「将来は…」「あすは…」を前提に、口角泡をとばしていることだった。

どうも、現状批判、過去へのグチの多いハンドボール界。

そんなことをしたって、なんのためにもならないのを承知していながら、それに触れなければならぬいら立たしさ。

そんな渦の中へ何回か身をおいた経験のある僕だけに、よけい嬉しかったのかもしれない。

この情熱、パワー。外部のかたにも素直に伝わったようだ。

特別講師をつとめられた日本サッカー協会専務理事の長沼健さんに先日お会いしたら「あの会はいい雰囲気でした。」といっておられた。

(ついでに書いておくと、長沼さんから「サッカーも、最初の頃は情熱的で盛り上った。しかし、四~五年経つと会そのものがマンネリ化してくる。そこを、どうするかが課題だ」と〝忠告〟も聞かしていただいた)

この講習会と前後して石川県協会から同協会の〈30年誌〉を送っていただいた。

印象的なのは、第2次大戦後すぐ、立ちあがった石川の歩み、第2回国体を開いた時の苦心と歓び…。

30年前、あすへの夢を託した熱気が、鮮やかに伝わってくる。

古くからのエネルギー、新しいエネルギー。この二つを、もうそろそろ、ハンドボール界は、なんとか一つにしなければならないだろう。

「一九八〇年代にメダルを」という威勢のいいスローガンを掲げた日本ハンドボール界。

その入り口へ向かっての一年がスタートしようとしている――。

大阪体大（8連勝）、武庫川女（4連勝）に栄冠

西日本学生選手権

第18回（女子第9回）西日本学生選手権は、4月9日から12日までの4日間、京都府立体育館などに男子22、女子11校が参加してトーナント法式で行われ、男子は大阪体大（関西）が8連勝、女子は武庫川女大（関西）が4連勝を飾った。

▽男子1回戦
大阪府大（関西）19（12 7－8 7）15 山口大（中四国）
島根大（中四国）23（1211－108）18 天理（関西）
関学（関西）11（7 4－4 4）8 関大（関西）
近大（関西）24（177－9 3）12 広島大（中四国）
同志社（関西）22（139－9 6）15 福岡大（九州）
京都産大（関西）31（1516－7 6）13 立命館（関西）

▽同2回戦
大阪体大（関西）32（2012－2 3）7 大阪府大
名大（東海）17（7 10－9 6）15 京大（関西）
阪大（関西）42（6824－104）14 島根大
中京（東海）21（1110－8 5）13 関学
近大 17（177－6 8）14 大阪経大（関西）
九州産大（九州）22（1210－6 3）8 名古屋学院（東海）
同志社 20（109－3 3）6 甲南（関西）
名城（東海）22（1210－7 7）14 京都産大

阪大、中京大を延長で降す

▽同準々決勝
大阪体大 18（8 10－6 7）13 名大
阪大 21（3 1 … 7 10－0 3 … 7 10）20 中京大
近大 23（167－9 8）17 九州産大
名城 15（8 7－5 3）8 同志社

○…阪大が中京を破った。延長後すぐ、中京が20－18とした時はそのままかと思えたが、阪大はよく粘り、20－20のあと藤次がタイムアップ寸前、殊勲の逆転ゴールを決めた。

大体大、阪大を突き放す

▽同準決勝
大阪体大 19（118－4 4）8 阪大

○…中京を降しダークホースぶりを発揮した阪大も、大体大には及ばなかった。

それでも、前半なかばまでは互角だったのだが、大体大は金子の井上の4連続ゴールで7－2と引きはなし、後半は小林、大崎が当たって順調に加点、なんとか粘ろうとする阪大を突き放した。

得	【体大】		【阪大】	得
0	矢永	GK	乾	0
0	近藤	GK	二俣	0
3	井上	FP	米村	0
7	小林	FP	戸川	0
3	大崎	FP	久保	0
3	金子	FP	土肥	1
1	亀井	FP	藤次	5
1	安田	FP	尾野	0
1	山下	FP	長坂	1
0	山口	FP	木村	0
0	砂川	FP	長田	0
0	藤本	FP	秦	1
19	（3）	PT	（3）	8

（審・早川、樫塚）

名城 18（8 10－4 7）11 近大

得	【名城】		【近大】	得
0	松井	GK	佐伯	0
0	松倉	GK	小島	0
1	榊原	FP	山本	1
4	小林	FP	吉田	3
0	各務	FP	松之内	1
6	中村	FP	佐々木	0
5	玉井	FP	比	1
2	纐纈	FP	佐藤	0
0	長谷	FP	宮本	4
0	立木	FP	松原	0
0	古橋	FP	角	1
0	平井	FP	伊藤	0
18	（1）	PT	（1）	11

（審・福井、小西）

○…前半の点差では、まだまだ勝負が判らなかったが、名城は後半開始直後、中村、小林のたたみかけで13－7。近大は、前半22分から約20分無得点が響いた。

▽同3位決定戦
近大 11（4 7－5 5）10 阪大

▽同決勝
大阪体大 19（118－8 4）12 名城

得	【体大】		【名城】	得
0	矢永	GK	松井	0
0	近藤	GK	松倉	0
2	小林	FP	玉井	1
5	井上	FP	中村	2
4	大崎	FP	各務	0
2	亀井	FP	小林	4
2	金子	FP	榊原	5
1	藤本	FP	纐纈	0
2	山口	FP	長谷	0
0	山下	FP	立木	0
0	砂川	FP	平井	0
1	安田	FP	古橋	0
19	（3）	PT	（5）	12

（審・新井、早川）

○…名城が15分4－3として先ゆきの興味を抱かせたが、大体大は、そのあとディフェンスがよく締まり、名城のミスもあったが、追加点を許さなかった。しかも、攻撃では、大崎が好調、18分同点のあと、連続4ゴールで8－4、思わぬ差がついた。

後半、大体大は攻守に余裕をのぞかせ、名城に5本のPTを奪われながらも危気はなく、堂々の八連覇を飾った。

大体大、同点PT落とす

▽女子1回戦
京都教大（関西）7（3 4－4 2）6 大阪成蹊女短大（関西）
愛知教大（東海）11（9 2－4 3）7 福岡大（九州）
山口大（中四国）棄権 関大（関西）

▽同準々決勝
武庫川女（関西）22（157－0 1）1 大阪教大（関西）
中京（東海）14（410－1 2）3 京都教大
大阪体大（関西）21（1110－1 3）4 愛知教大
中京女（東海）13（8 5－2 2）4 山口大

▽同準決勝
武庫川女 12（6 6－1 2）3 中京
大阪体大 12（7 5－3 2）5 中京女

▽同3位決定戦
中京女 9（6 3－2 1）3 中京

▽同決勝
武庫川女 8（4 4－4 3）7 大阪体大

得	【武庫】		【体大】	得
0	宮崎	GK	柴田	0
0	水谷	GK	竹山	0
0	沖	FP	福田	0
2	吹田	FP	浅井	4
6	木下	FP	岡田	2
0	坂本	FP	田辺	0
0	長谷川	FP	戸村	1
0	清水	FP	市原	0
0	倉光	FP	辰巳	0
0	中村	FP	横井	0
0	富田	FP	秋山	0
0	藤山	FP		
8	（1）	PT	（1）	7

（審・福井、早川）

○…武庫川女、大体大の力が頭抜けていた。

それだけに両者の決勝は、シーズン初めとは思えぬ見応えだったが、武庫川は木下の活躍で優位に立ち、残り2分8－6とした。

大体大も粘り1点差に迫ったあとPTをもらったが、武庫川GK宮崎が、懸命に止めて、辛くも勝利を手にした。

東日本学生もスタート　全日本学連は、東日本学生選手権をスタート（厳密には復活）させる。第1回大会は8月29～31日札幌市の予定。

☆★☆★☆★☆★☆★☆★

海外トピックス

――杉山　茂――
（NHK運動部）

デッカルムが大事故

西ドイツの世界制覇に大きく貢献、将来は、まちがいなく世界のエースになるといわれたJ・デッカルム（25才）が、ホームクラブVfL・グンメルスバッハの一員として、国際試合中、相手選手との激突から側頭部を強打、頭骸骨々折という重傷を負い、ただちに手術をうけたものの、意識をとりもどせず、西ドイツ紙によれば、競技者としてはもとより、社会人としての〝復帰〟も危ぶまれる状態という。

この事故は、3月30日ハンガリーで行われた第4回男子ヨーロッパ・カップ・オブ・カップス準決勝第2戦、バニヤス・タタバニヤとの試合中、起きたもので、デッカルムは、シュートを射とうとした際、横からとびこんできたタタバニアのパノピックと激突、そのまま倒れ、意識を失った。

パノピックのプレーがラフなものであったかどうかは判らぬが、デッカルムの再起が成らないとなれば、ラフプレーへの〝国際的な監視〟は、ますます強められることとなろう。（速報）

チリ発足、グルイアメキシコへ

このところ、南米地域の活動が盛んに伝えられているが、去る2月21日、チリ協会が正式に設立され、IHF（国際ハンドボール連盟）への加盟に向かうこととなった。

チリのハンドボールは、一九七一年ごろに芽ばえ、現在では、五千人をこす競技者が活動していると伝えられる。

また、ブラジルも、本格的な強化活動を示しはじめ、トップクラスのチームがしきりと、ヨーロッパに顔を見せ、3月なかばからジュニア・ナショナルが、西ドイツに滞在しつづけている。

このほか、メキシコが、かつてのルーマニアのエースアタッカーG・グルイアを指導者として招くことを、明きらかにしている。

注目のキューバは、早ければ、モスクワ・オリンピックのアメリカ大陸予選にエントリーするのではないか、といわれる。

ソ連と同国との友好を考えればじゅうぶん考えられる話である。

ソ連、「東ドイツ国際」制す

世界選手権後、はじめといってもよい女子のビッグトーナメントが、このほど東ドイツで開かれた第10回ニュウブランデンバーグ国際トーナメントで、東欧4強（東ドイツ、ソ連、ハンガリー、チェコ）にデンマークが参加するという豪華な顔ぶれ。

東ドイツが、チェコに引き分けたものの、地元の利を活かして優勝は固いとみられたが、最終戦、またしてもソ連に手痛い1敗を喫し、ソ連が優勝、東ドイツは3位に落ちてしまった。

もっとも、東ドイツはクレチュマル、リヒター、ロストらが欠場、マッツ、クルーガー両新鋭を主力で戦っている。ハンガリーは監督がB・トロックからミハリー・レーレに代っての最初の大会。

チェコ　9―9　デンマーク
ハンガリー　18―15　ソ　連
東ドイツ　14―7　ハンガリー
ソ　連　13―8　チェコ
東ドイツ　15―10　デンマーク
ソ　連　14―8　デンマーク
ハンガリー　13―11　デンマーク
東ドイツ　12―12　チェコ
ハンガリー　18―12　チェコ
ソ　連　16（6―5、10―7）12　東ドイツ

【順位】①ソ連3勝1敗②ハンガリー3勝1敗③東ドイツ2勝1分1敗④チェコ⑤デンマーク

男子カップスは〝東西決勝〟

ヨーロッパのカップ4大会が終盤に入った。

男子は、すでに準決勝が終わり、カップは、TV・グロスバルスタット×SC・エムポール・ロストックの東西ドイツ代表による決勝。

男子カップスは、別項のようにデッカルム（西ドイツ・グンメルスバッハ）の重態というアクシデントがあったが、予想どおりグンメルスバッハ×SC・マグデブルグ（東ドイツ）の決勝となった。

女子は、ヨーロッパ・カップ準々決勝では、健闘を期待されたアイントラクト・ミンデン（西ドイツ）は、本命スパルタ・キエフ（ソ連）に第1戦7―19、第2戦14―22で退けられた。

クレチュマル、ロストらのSC・ライプチヒ（東ドイツ）は、近くバサス・ブダペスト（ハンガリー）と準決勝。カップ・オブ・カップスは2カードとも、準決勝の第1戦が終ったところで、リヒター、クラウゼらのTSC・ベルリン（東ドイツ）は、AIA・トランビエルグ（デンマーク）に27―12で、シャルジリス・カウナス（ソ連）は、フェレンクバロス・ブダペスト（ハンガリー）に17―14でそれぞれ先勝。2連勝を狙うフェレンクバロスの第2戦の試合ぶりに注目が集まる。

日本ハンドボール協会A－B級公認審判員ペーパーテスト問題

（3月30日～4月1日実施　A級19名受験17名合格，B級33名受験26名合格）

◇昭和54年度A級公認審判員試験問題

〔A〕次の文章の正しいものに○印，間違っているものに×印をつけよ。

1. レフェリーAによって警告されたプレイヤーが，しばらくしてレフェリーBによって警告された場合には，そのプレイヤーは退場にはならない。
2. ゴールスローはキーパーの手からボールがはなれたときに終ったとみなす。
3. スローインのとき，ジャンプしてスローをしたので，相手チームのスローインにした。
4. 退場を命じられたプレイヤーの退場時間が終り，他のプレイヤーが入場してきたので不正交替である。
5. GKになったFPは，いつでも再びFPにもどることができる。
6. ゴールスローは，フリースローラインとゴールエリアラインの間にいてカット（妨害）してよい。
7. ペナルティースローのとき，スローをするプレイヤーがボールを持って位置についたので笛を吹いた。その後ボールを落したので，やり直しをさせた。
8. ころがっているボールがサイドライン上に止ったので相手側のスローインとした。
9. ボールは最高3秒間持っていることができる。たとえボールが地面についていても同じである。
10. 膝をついたり，坐ったり，横たわってボールを競技することは危険なので禁止されている。

〔B〕次の文の□の中に最も適切な語を入れよ。

1. フリースローは原則として反則のあった地点から行われる。[11] と [12] の間での [13] の反則のときには，ゴール前では，反則のあった [14] を通る [15] と平行な延長線上の [16] の外側から行なう。特にゴール前のフリースローの場合には，レフェリーは [17] の [18] を [19] に [20] しなければならない。

〔C〕(1) 競技開始前に，レフェリーが競技を審判するにあたって，あらかじめ留意しなければならない事項について記せ。（箇条書き）

(2) 警告，退場，失格，追放のそれぞれの判定をした後のレフェリーの留意事項および処置について記せ。

〔D〕次の各問の，レフェリーの判定および処置について最も適切なものを，ABCDの中から選び記号を解答欄に記入せよ。

(1) A_2 は B_3 に対して反則を犯した。2人のレフェリーは同時に笛を吹き，CRはペナルティースローを判定，GRはBチームにフリスローを判定し，A_2 に2分間の退場を与えた。

A　Bチームにフリースロー，A2に2分間の退場を与えた。

B　Bチームにペナルティースローを与えた。

C　レフェリースローとした。

D　Bチームにペナルティースロー，A2に2分間の退場を与えた。

(2) CRはB5のプレイに対して2分間の退場を判定した。B5はその判定を不服だとして，その場から退場するときにレフェリーに対し罵声を浴せた。

A　さらに2分間の退場を付加して合計4分間の退場とした。

B　本人の失格とした。

C　本人を追放とした。

D　競技を没収した。

(3) A6はシュートした。正常に進めばゴールインすると確信できるボールが競技場内に犬が走り込んできてその犬にシュートのボールがあたり，フィールドにはね返ってしまった。

A　そのまま競技を続行する。

B　得点を認める。

C　フリースローライン上でレフェリースローを行なう。

D　Aチームのペナルティースローにする。

(4) A1(GK)はゴールスローを行なったところ，B4がペナルティーライン上にいて，ジャンプしてそのゴールスローを妨害した。ボールはB4に阻止されゴールエリア内に返ってしまった。

A　Aチームのフリースローで B4を警告。

B　Aチームのフリースローで B 4を追放。

C　そのまま続行。

D　Aチームのフリースローで B 4を退場。

◇昭和54年度　B級公認審判員試験問題

〔A〕次の文章で正しいものに〇印，間違っているものに×印をつけよ。

1. ペナルティースローのとき，ゴールキーパーはゴールエリア内で自由に動いてはいけない。
2. フリースローのとき，ボールを持ってポイントに立ち3秒を経過してもスローを行なわなかったので，オーバータイムと判定した。
3. ころがっているボールをくりかえし片手でころがすことはよい。
4. 如何なる場合でも，GKはFPのかわりをすることはできない。
5. コーナースローは直接得点することはできる。
6. ペナルティースローのとき，GKは片足が4米ラインの後についている限り，他の片足および腕はラインの前の空間へ動かすことはできる。
7. 警告，退場は継続したものであるから，警告なしに，いきなり退場させてはならない。
8. カットしたボールを両手でひろい，それをドリブルすることはダブルドリブルでない。
9. ゴールスローをゴールエリア内で妨害したので，警告を与えた。
10. 最後の一投を該当するスローは，ペナルティースロー，フリースローだけである。

〔B〕次の文の□の中に下の語群から最も適切なものを選び，記号を解答欄に記入せよ。

(1)　プレイヤーの最初の不正交替は［11］を越えた地点から相手側の［12］によって罰せられなければならない。［13］以後のすべての不正交替の場合には，そのプレイヤーは［15］させられなければならない。明らかな［15］のチャンスが不正交替によって［16］されたならば［17］したチームは，ペナルティスローで罰せられ，違反したプレイヤーは［18］されなければならない。

失格させられたプレイヤーあるいはチーム役員は以後の競技の間［19］され［20］をはなれなければならない。

語群　(ア)　退場　(イ)　得点　(ウ)　サイドライン　(エ)　追放　(オ)　ベンチ　(カ)　失格
(キ)　違反　(ク)　3回目　(ケ)　阻止　(コ)　フリースロー　(サ)　コート　(シ)　エンドライン
(ス)　2回目　(セ)　失点　(ソ)　ペナルティースロー

〔C〕(1)　タイムキーパーが規定時間より早やく競技終了の笛を吹いてしまった場合には，レフェリーは，プレイヤーがまだ競技場内にいるとき，どんな方法で競技開始するかを述べよ。

(2)　参加資格のないプレイヤーが，競技に参加して反則を犯した場合のレフェリー処置を述べよ。

①　8人目のプレイヤーが競技に参加して反則を犯した場合

②　13人目のプレイヤー（そのゲームの登録外プレイヤー）が競技に参加して反則を犯した場合

〔D〕次の各問のレフェリーの判定および処置について，最も適切なものを，A，B，C，Dの中から選び記号を解答欄に記入せよ。

(1)　B 2はコート上で転がっているボールを取ろうとしたが，足にあたって，そのボールが結果的に味方にパスをした状態になってしまった。

A　A．チームのキックでAチームのフリースローとする。

B　そのまま競技を続行する。

C　その場所からレフェリースローとする。

D　故意のキックではないので反則ではない。

(2)　B 7のホールディングを判定したが，B 7につかまれたA 3が離れぎわにB 7の足を蹴っとばしたのでA 3を退場させた。

A　競技中断中なので退場はない。

B　フリースローライン上でレフェリースローとする。

C　Bチームのフリースローとする。

D　Aチームのフリースローとする。

(3)　ゴールエリアに向ってはずんでくるボールをゴールキーパーは，ゴールエリア内で踏み切り空間でボールをキャッチしてそのままフィールドに着地してしまった。

A　競技は続行する。
B　ゴールキーパーのラインクロスなので，相手側のフリースローとする。
C　相手チームのペナルティースローとする。

(4)　Aチームは3回目のストーリングを判定された。
A　Bチームのフリースローである。
B　Bチームのフリースローで主責任者を失格させる。
C　Bチームのフリースローで主責任者を追放させる。
D　Bチームのフリースローで主責任者を退場させる。

第6回全国教員養成大学ハンドボール研修会要項

1．目　　的　全国の教員養成大学の学生を対象に，合宿研修を行ないハンドボールの競技の正しい理論を理解し，新しいハンドボールの実践を通して，楽しいハンドボールを十分体験し，当面の学園生活を豊かにするとともに，有為な指導者に必要な資質の向上をはかることを目的とする。
1．主　　催　日本ハンドボール協会
1．後　　援　文部省・日本体育協会
1．会　　場　筑波大学・体育館及びグラウンド
〒300—31　茨城県新治郡桜村天王台1—1—1　☎0298—53—2635
1．期　　日　昭和54年8月17日～20日　3泊4日
1．参加資格　全国の国公私立の教員養成大学（学部学科含む）の男・女学生であること。
1．申 込 み　◦技術研修への参加—原則としてチーム単位（7名～10名），特に地方大学及び新しく結成されたチームを優先する。
参加人員（100名）に制限があるので，定員になり次第〆切る。
参加希望者及び参加希望チーム代表者は別紙参加申込書に参加料を添え7月10日まで必着。
申込み先　〒300—31　茨城県新治郡桜村天王台1—1—1　筑波大学体育科学系　大西武三 宛
1．経　　費　参加料1人 5,000円現金書留にて上記に郵送のこと。
研修期間中の宿泊費は（8月16日昼食～20日朝食）日本ハンドボール協会が全額負担する。期間の前日の宿泊費，食事は日本ハンドボール協会が全額負担する。（16日16時に筑波大学体育科学系棟前にて受付すること）又，旅費の一部を日本ハンドボール協会が補助する。
1．指 導 者　日本ハンドボール協会競技委員，普及委員，強化委員。
1．技術研修グループ日程
・8月17日(金)　前9：30開試式，10：30講義，後1：00技術練習，7：00交歓会
・　18日(土)　前8：30講義，9：30トレーニングと技術の練習，後1：00総合技術練習，3：30審判法 7：00映画
・　19日(日)　前8：30講義，9：30ゲームと技術練習，後1：00ゲーム，7：00映画
・　20日(月)　前9：00講演，9：30ミーティング，11：30～12：00閉講式

第6回全国高等専門学校ハンドボール選手権大会要項(主旨)

1．主　　催　日本ハンドボール協会，(社)全国高等専門学校体育協会
1．期　　日　昭和54年8月14日(火)，15日(水)
1．会　　場　大阪市中央体育館（大阪市東区法円坂6—1）
1．参加資格　(イ)　高等専門学校の学生で校長の出場認知証明書のあるもの
(ロ)　都道府県ハンドボール協会を経て日本ハンドボール協会に加盟登録されたチーム
1．参加チーム　北海道1，東北2，関東信越A1．同B1．東海北陸A2．同B1．近畿2．中国3．四国1．九州1．開催府県1＝合計16校
1．チーム人員　監督1名，主務1名，選手15名，合計17名以内とする。参加料は1チーム8,000円とする。
1．参加申込　(1)　申込期限　昭和54年7月28日（土）必着のこと。
(2)　申込場所　大阪府寝屋川市幸町26番12号，大阪府立工業高等専門学校内
第6回全国高等専門学校ハンドボール選手権大会事務局 電話(0720)21—6401（〒572）

NBN杯 ブラザー辛くも1位

第7回名古屋テレビ（NBN）杯全国選抜女子大会は3月19日から21日まで名古屋市体育館で行われた。

参加チームは、全日本女子チャンピオン・ブラザー工業(愛知)のほか、実業団の若手を東西に分けたジュニア2チームで1回総当りの結果、三すくみとなり、得失点差の争いからブラザー工業が両ジュニアをおさえ、2年ぶり2度目の優勝を飾った。

ブラザー工業（愛知） 17（9－5、8－8）13 西日本実業団ジュニア
東日本実業団ジュニア 17（9－11、8－5）16 ブラザー工業
西日本実業団ジュニア 12（5－5、7－4）9 東日本実業団ジュニア

【順位】①ブラザー工業1勝1敗（得失点差3）②西日本実業団ジュニア選抜1勝1敗(マイナス1）③東日本実業団ジュニア選抜1勝1敗（マイナス2）

各地の記録

中京と暁が初優勝

第7回東海高校選手権は2月17、18日、静岡県の草薙体育館に男女各4チームの代表が集まり、リーグ戦で行われた。

男子は、中京(愛知)が接戦をつづけながらも、3戦を勝ち抜き初優勝した。2位以下は3校が決め手を欠いて、いずれも1勝2敗、前回1位の県岐阜商が、辛くも得失点差で2位に入った。

女子は、有力とみられた名短大付(愛知)を1点差で降した暁（三重）が、ディフェンカで他校を抜き3戦全勝、初優勝した。

▽男子
四日市工（三重） 11（7－6、4－3）9 土肥（静岡）
中京（愛知） 18（9－7、9－7）14 県岐阜商（岐阜）
中京 13（5－5、8－6）11 四日市工
土肥 16（7－5、9－9）14 県岐阜商
県岐阜商 15（6－5、9－6）11 四日市工
中京 19（8－9、11－3）12 土肥

【順位】①中京3戦全勝②県岐阜商1勝2敗(得失点差マイナス2）③四日市工1勝2敗(マイナス5）④土肥1勝2敗（マイナス7）

▽女子
暁（三重） 8（5－2、3－1）3 静岡城北（静岡）
名短大付（愛知） 12（7－5、5－3）8 富田女（岐阜）
暁 9（3－2、6－5）7 名短大付
富田女 11（6－4、5－5）9 静岡城北
暁 6（3－1、3－4）5 富田女
名短大付 9（7－1、2－0）1 静岡城北

【順位】①暁3戦全勝②名短大付属2勝1敗③富田女1勝2敗④静岡城北3敗

高知でハンドボール祭

▼高知県ハンドボール・カーニバル（1月・高知）

▽男子準決勝
高校選抜「西」12－9 高校選抜「東」
一般選抜 12－11 大学選抜

▽同決勝
一般選抜 18（7－7、11－9）16 高校選抜「西」

▽女子決勝
一般選抜 14（7－4、7－4）8 高校選抜

一般男子は関東学院大

▼神奈川県室内選手権（2月・横浜）

▽一般男子準々決勝
日本発条 19－10 相友ク
三春台ク 15－12 東海大
関東学院大20－16 河田ク
県教員ク 15－12 東海大B

▽同決勝準勝
三春台ク 15－13 日本発条
関東学院大20－13 県教員ク

▽同3位決定戦
日本発条 16－13 県教員ク

▽同決勝
関東学院大 16（13－7、3－4）11 三春台ク

▽同女子決勝
保土谷ク 9（6－3、3－2）5 京浜ク

▽高校男子準々決勝
横浜商工 12－10 希望ケ丘
東 16－14 県川崎
県相模原 16－8 多摩
法政二 17－9 商大付

▽同準決勝
横浜商工 13（延）12 東
法政二 11－10 県相模原

▽同決勝
横浜商工 13（6－4、7－8）12 法政二

▽同女子準々決勝
明倫 16－3 金井
高浜 11－7 東
京浜横浜 17－4 藤沢西
川和 8－4 百合ケ丘

▽同準決勝
明倫 15－10 高浜
川和 5－3 京浜横浜

▽同決勝
明倫 8（4－0、4－3）3 川和

大同特殊鋼肩ならし

▼愛知実業団リーグ（2月・名古屋）＝男子1部のみ
トヨタ車体 25－6 日本碍子
日本碍子 12－11 豊田織機
トヨタ車体22－7 豊田織機
トヨタ自工12（分）12 日本碍子
新日鉄名古屋12－9 トヨタ自工
トヨタ車体20－10 トヨタ自工
大同特殊鋼25－10 日本碍子
新日鉄名古屋18－13 豊田織機
大同特殊鋼26－13 豊田織機
新日鉄名古屋20－7 日本碍子
大同特殊鋼23－11 トヨタ自工
新日鉄名古屋17－8 トヨタ車体
大同特殊鋼19－15 新日鉄名古屋
トヨタ自工15－8 豊田織機
大同特殊鋼23－7 トヨタ車体

【順位】①大同特殊鋼5戦全勝②新日鉄名古屋③トヨタ車体④トヨタ自工⑤日本碍子⑥豊田織機

▼岐阜県室内選抜選手権（1月・大垣）

▽男子準々決勝
岐阜教員 18－8 航空自衛隊
岐南ク 19－9 大垣工高
岐阜大 21－11 日本耐酸壜
市岐阜商OB 14－11 鬼商会

▽同準決勝
岐阜教員 13－10 岐南ク
岐阜大 19－10 市岐阜商OB

▽同決勝
岐阜教員 15（10－6、5－6）12 岐阜大

▽女子準決勝
県岐阜商OG 6－1 笠松ク
富田女高 10－6 県岐阜商高

▽同決勝
県岐阜商OG 12（3－2、9－2）4 富田女高

▼高校定期戦・第23回旭陵戦（3月・名古屋）
旭丘（愛知） 20（11－5、9－1）6 瑞陵（愛知）

▽OB戦
旭丘OB 16－12 瑞陵OB

クラブを作って皆で入ろう

保険金が1,200万円になりました

スポーツ安全協会傷害保険

1979

昭和54年度から"より大きな補償"の保険になります

スポーツ団体だけでなく
子ども会，婦人団体，地域のクラブ等の方々も
10名以上のグループで，ご加入になれます

●保険料，保険金額は（お一人につき）

区分		保険料	死亡・後遺障害保険金額	医療保険金額	
				通院中	入院中
第1種	A	340円	12,000,000円	日額 1,000円	日額 1,500円
	B	400			
	C	680	後遺障害の支払いは 3%～100%	支払限度日数 90日	支払限度日数 180日
第2種	A	9,600			
	B	3,200			
	C	1,600			

（注）特に希望がある場合は，保険料，保険金額が上記の半額になるS型の加入も可能です。

●第1種，第2種ABCの区分は次のとおりです。

第1種	A	スポーツ少年団，子ども会，こてきバンドなどの幼少年グループ
	B	PTA，旅行同好会，万歩クラブなどで文化活動，奉仕活動，軽スポーツなどを行う団体
	C	ママさんバレー，早起き野球などの地域スポーツ団体
第2種	A	山岳会，スキンダイビング，リュージュなど
	B	スキー，ラグビー，サッカー，柔道，ボクシング，空手，馬術など
	C	卓球，テニス，陸上，水泳，軟式野球，バレー，ボート，体操競技など

●体協公認等の指導者も10名以上まとまった場合は第1種Cで加入できます。また，指導する団体の一員としても加入できます。

●適用の範囲（担保条件）は

- ○加入者の所属する団体の管理下における活動中の事故。
- ○団体が指定する集合，解散場所と加入者の住所との通常の経路往復中の事故。
- ○ただし学校管理下（学校安全会の給付対象内）における事故は不担保。

●保険期間

毎年4月1日より翌年3月31日まで。ただし，中途加入でも翌年3月31日までです。（申込は3月1日から受付ます）

●加入申込み，資料の請求，お問合せは……

スポーツ安全協会各都道府県支部（主として教育委員会保健体育課にあります），東京海上火災の営業店にご照会ください。

（財）スポーツ安全協会
東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館
電話 467－3111（代） 直通460－6263

資料　27〜29年の会報抜すい

本誌（35年5月創刊）より以前に〈日本協会機関誌〉が出ていた、という話を、これまで何回か耳にした。ところが、どなたも記憶を薄れさせ、「あったような気もするが…」という返事。

当時、編集発行人だった的場益雄氏（元日本協会理事）に数年前、「出していた」ことを確認したのだが、さて実物になると、これは探すほうがムリ、なかば絶望していたのだが、今月になって、当の〃編集長〃的場氏から「家の大掃除をしていたらファイルが見つかった」というご連絡。

貴重な、きわめて貴重な古き機関誌「ハンドボール会報」（B5 2〜6頁・活版）を借していただいた。

創刊は27年3月。29年10月まで9号が出ているが、資料のあまり揃っていない27〜29年の空白を埋めるにも、将来〈日本ハンドボール史〉を編むにも、見落せぬ内容である。主要掲載項目を資料とした。

なお、第3、4号が欠落。この二号をお持ちのかたが居られればぜひ、ご連絡下さい。

（編集委員会）

◇第1号　27年3月20日

▽創刊号らしく式場隆三郎（日本協会々長、全日本学生連盟会長）馬場太郎（日本協会副会長）、河島武四郎（全国高体連ハンドボール部長）の各氏が、発刊の祝辞を寄せている。

▽1面には、式場会長名で、国際ハンドボール連盟（IHF）総会と世界男子選手権、ヘルシンキ・オリンピックに、会長ほか1名を派遣するため、その費用を全国からの援助で行いたい旨の趣意書が掲げられている。

その方法は、一個千五百円の「協力ボール」を一チームにつき三個以上購入してもらう、というのが中心で、このうち一個につき五百円が、派遣費用に繰り入れられるとしている。

▽2面は、2月2日に開かれた評議員会の議事録。

26年8月28日ストックフォルムで、日端スポーツ懇談会に出席された川崎秀二氏の御尽力により日本が国際ハンドボール連盟の仮加盟国となることができた——というビッグニュースのほか、27年度から公認審判員制を採用することが伝えられている。

また、26年度の決算報告書が掲載されており、収入二一七、八〇〇円、支出二〇六、九二二円。時の流れを感じさせる。

27年度(任期2年)の役員改選も行なわれている。当時の構成は、会長1、副会長2、理事長1、常務理事11、理事13。

▽3面は第7回国体(福島)の参加人員のほか、開会式直後の試合を、初の天覧試合とする。一般男子の部は1チームに6名まで学生を含むことができる。一般女子の部は、学生参加の人員には制限はない、などを記している。

26年12月3日駒沢で前IHF名誉会計、現スウェーデン協会理事W・リーベルグ氏を招いて開いた講習会の内容も興味深い。

同氏は、スウェーデンサッカーチームの副団長として来日したもの。講習会後の同氏の談話(全文)は次のとおり。

「日本のハンドボールが、かくも立派であり、盛んであるとは想像もつかなかった。充分に国際レベルにあるといえる。

欧州では、ドイツを除いては、スウェーデンがもっとも強い。

日本の試合を見て特に感じた点は、パス、シュートの位置などは日本の方が大きい。スピードは、日本のほうが優れている。審判のジャッジングは正しい。今後、国際ゲームのチャンスをつかんで、日本の腰の強いジャンプシュートの強さを世界に拡めて欲しい。

審判の判定によるゼスチュアはよいことであり、帰国後は早速IHFへ報告し研究しよう。

ボール（使用球）は立派だ。スウェーデンよりも安い。持ち帰って試合に使ってみたい。

北欧は、殊に室内ハンドボールが盛んだから、日本もぜひ、これを採り入れて欲しい。勿論、国際ゲームは屋外競技が正式のものとして行われている。

女子のコートは50×25mでやらせたらよかろう。その時、ゴールは3×2mの室内のものを使ったらよい。来年もぜひ来たい。その時は、室内選手をつれて来て、試合をやってみたい」

当時のIHF加盟国はベルギーデンマーク、ドイツ、フインランド、フランス、オランダ、アイスランド、ユーゴ、ルクセンブルグノルウェー、オーストリア、ポーランド、ポルトガル、ルーマニアザール、スウェーデン、スイス、スペイン、チェコ、ハンガリー、それに仮加盟国イタリーとあるがこのニュースの直後、一九五一年十月のパリ総会で日本が伝加盟、イタリー、イスラエルが加盟国になっている。

▽4面は常務理事会（理事長・外山准二氏）の報告が中心。

◇第2号　27年4月30日

▽1面に徳永陸繁氏が署名入り記事「高校ハンドボールの使命」を寄稿している。

〈ハンドボールの全国的な普及はここ数年間に急激に発達したことは、衆知のとおりである。

即ち今日の高校の加盟校数は、実に男女500校に及ぶに至ったのである。

この事実は、純情かっ達なる高校生に適合性をもったスポーツであることを、如実に示していると確実するものである。

この輝しい前途を約束されているスポーツの指導者として、私は日頃考えているところの一端を述べ、現代勉学とスポーツにいそしむ学徒の指針の一助にしたいと思う。

第一に、チームとして団結の精神に徹したいと思う。

ハンドボールは、団体ゲームであるから団結の精神が必須条件であるが、さて、実際のゲームにおいては、なかなか容易なことではない。

即ち、意識的に、個人的なスタンドプレイをしたり、或いは得点の差のために一人でもゲームを投げた態度をするなどは、けしてチ

ームとして団結しているとはいえないのである。

真の団結の精神は、11人が気持を合わせるというなまやさしい程度のものではなくして、11人が11人以上の力となるまでにならなくてはならない。それには一人々々のプレイヤーが自覚の上に立って積極的な努力が最も大切な要素である。

また、この要素も一朝一夕に完成するものではないので、一に日頃の練習と日頃の生活の中に積まれなくてはならない。

第二に必要なことは闘志である闘志がないゲームは学徒スポーツに価しない。

然し、この闘志も「勝利のためには手段を選ばない」というような野卑な闘志を意味するのではない。

もっと高度な学徒に相応しい闘志が望ましい。

この第一歩はやはり練習であるしかし、この練習も単に、毎日同じことを繰り返しているという練習をいうのではない。

むしろ、勉学の暇をみつけて、うまず、たゆまず研究を含めての練習を意味するのである。

こうして身についた闘志こそ、勝っておごらず、負けて悔いのない真の闘志が養われると思うのである。

いよいよ講和も訪れ、我がハンドボールも、国際競技のひのき舞台に出る日もさほど遠くはないと思う。

我が真愛する高校選手に大いに期待しているものである。

▽2・3面は室内ハンドボール競技規則一九四七年版の紹介①

▽4面は日本協会・高体連懇談会の議事録。

本年第3回を迎えたが、運営の基本問題になお未解決の点も多いので、この懇談会が開かれた、とされ、一、大会の最終責任は日本協会にあること、一、大会運営は高体連ハンドボール部に一任すること、一、審判は協会の責任で行うこと、一、日本協会、高体連各5名の委員を選出して、全国高校選手権大会委員会(仮称)を組織し更に検討を加えること、などを申し合わせている。

◇第5号　27年10月10日

▽1～3面は、ヨーロッパ見学中の外山准二理事長から送られてきた〝ヨーロッパだより〟の第2信から第6信までが特集されている。

第5信、初めて室内ハンドボールを観戦したリポートでは、キール(西ドイツ)の国際大会に八千人を越すファンが集ったことを知らせ、第6信では、西ドイツのリーダーの一人、ペリー氏を28年4月に10日間ほど招くこと、28年10月に14人のドイツチームを招くことの合意をみたという〝特報〟がある。

このほか、4面に第3回全日本高校選手権の総評。

◇第6号　27年10月18日

▽第5号の追報の形で、第3回全日本高校選手権の記録つづきと第7回国民体育大会の予想。荒川清美氏の執筆によるもので「多年の念願かなって、府県対抗も一般男子のみであるが実現され、今後の斯界に大なる光明を与えたことは、誠に慶びに堪えない」とある

2面は同大会の組み合せ表で占められている。

◇第7号　27年11月10日

▽1面に福島における第7回国体一般男子山口(山口ク)対東京(東京ク)をごらんになる両陛下の写真。

記事も、この大会の特集で「まず、十九日の総合開会式後、三万の観衆とともに、天覧の栄に浴したことは、ハンドボーラーとして一生忘れない感激の場であった。試合は、天覧のため、特に設けたカードではなく、一般男子の山口と東京の対戦ということが、抽せんの結果きまったのであるが、このことの良否は別として、なお当日の試合は、天覧と同時に全国中継も行なわれたわけである。

さて、流石の大グランドも観衆が外にあふれ、学校の団体などはグランド内に列を正して座を占めるなど文字どおりの超満員であった。天覧の演技の第一番が、わがハンドボールであった(中略)。

わがハンドボールが、三万余の観衆のもとに競技を行ったのははじめてであり、河島副会長の説明により、両陛下に親しく観ていただいたことは、ハンドボール史上に特筆すべきことである」

◇第8号　29年10月1日

▽第7号が発行されてから2年後に第8号である。

編集後記で担当者は「経費の不足もさることながら、記事の原稿が、なかなか揃わないのが常である」と苦しい事情を説明している

内容は函館での第9回国体が中心。ほかに随想ふう原稿3本。

この号を最後に、本誌の刊行される35年5月まで、日本協会の機関誌は約6年間、活動休止となる

◆日本協会は古い記録、資料を求めています。「どんなものでも結構です。ご連絡下さい。



練習が技術をつちかい
技術が信頼を支える

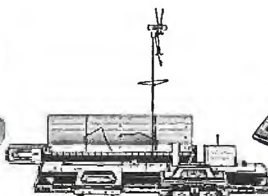
きょうの反省を、あすの練習に、試合に結びつける……スポーツマンにとって、大切な心がまえです。常により高度な技術をめざしてチャレンジする——それはブラザーが目ざしているものと一致します。技術がチームメートの信頼を支えるように、お客さまの信頼に応えるのは、高度な技術に支えられた品質以外にないのですから——。

BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社











日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一七三号
昭和四十年六月七日　五四年三月二十五日印刷
第三種郵便物認可　昭和五四年四月一日発行
発行所
日本ハンドボール協会
東京都　区神南一―一―一
電話（　467）七〇九七
振替　―六―五八三四八番
編集兼発行人　荒川清美
定価三百五十円
（年間購読料三千三百円）